

令和2年度 大村市民病院運営市民会議

< 令和元年度 事業実績について >



令和3年3月17日

本日のスケジュール

市民病院の経営状況報告

- (2) 改革プランに基づく状況報告
- (3) 令和元年度実績報告と令和2年度の近況報告
- (4) 令和元年度利用者アンケートの結果報告

本日のスケジュール

市民病院の経営状況報告

(2) 改革プランに基づく状況報告

■ 改革プランと市民病院の関連と経過

プランの意味と評価

- ① 公民の適切な役割分担
- ② 地域に必要な医療提供体制の確保
- ③ 持続可能な病院経営を目指す

国	★【公立病院改革ガイドライン】			★【新公立病院改革ガイドライン】				
県				県地域医療構想策定				
市	★【大村市立病院の経営のあり方に関する基本方針】 H21.3作成			★【市立大村市民病院新改革プラン】 H29.3作成				
市民病院 (建物)	旧病院			新病院 (2)				
市民病院 (経営)	(直営)	(指定管理者)					(3)	
時期	H19	H20		H28	H29	H30	R1	R2

■ ガイドラインと新改革プランとの記載関連

ガイドライン	新改革プラン	
区 分	記載の有無	該当項
①地域医療構想を踏まえた役割の明確化	記 載	P6～P7
②経営の効率化	一部記載	P7～P11
③再編・ネットワーク化	記載なし	該当なし
④経営形態の見直し	記載なし	見直しスミ

■ ガイドラインと新改革プランとの記載関連

ガイドライン	新改革プラン	
①地域医療構想を踏まえた役割の 明確化	記載の有無	該当項等
地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割	記 載	P6 2 - (1) ②③
地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割	記 載	P7 2 - (2)
一般会計負担の考え方	記 載	P7 2 - (3)
医療機能等指標に係る数値目標の設定	記 載	P7 3 - (1)
住民の理解	記載なし	医療機能見直し時に必要(完了しているため)

■ ガイドラインと新改革プランとの記載関連

ガイドライン	新改革プラン	
②経営の効率化	記載の有無	該当項等
経営指標に係る数値目標の設定	記載なし	指定管理者の運営計画で 代用
経常収支比率に係る目標設定の考え方	記載なし	指定管理者制度導入自治 体は不要
目標達成に向けた具体的な取組	記載なし	指定管理者制度導入自治 体は不要
新改革プラン対象期間中の各年度の収支計画	市の部分 記載	大村市病院事業の見通し を記載

① 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

ア) 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割

県地域医療構想 〈県央圏域〉	市民病院新改革プラン	対象期間 具体的な将来像
<p>(医療機能の分化・連携体制)</p> <p>・長崎県内でも高度急性期、急性期の機能が充実している区域である。ただし、慢性期の病床が多い反面、回復期の病床が少ないうえ、在宅医療等の患者が大幅に増えると推計されている。</p> <p>・東彼杵郡は、大村市、諫早市の拠点病院への距離が遠いため、佐賀県(嬉野医療センターなど)への患者の流出が多くなっており、大村市、諫早市と受療動向が異なっている。</p>	<p>・地域包括ケアシステムの一環として地域包括ケア病棟の設置、回復期リハビリテーション病棟の設置を先進的に行い、大村市の地域包括ケアシステムの中で地域に密着した病院として、救急患者の受け入れ、在宅生活復帰支援を行っている。</p>	<p>〈紹介率・逆紹介率〉</p> <p>40% 以上</p>
<p>(在宅医療・介護)</p> <p>・大村市においては、医師会、歯科医師会、薬剤師会などが協定を結び、多職種が連携して地域包括ケアシステムの構築を進めることとしている。</p> <p>・人口10万人あたりの在宅療養支援診療所数は長崎県の平均より高い水準にあるが、在宅医療等の医療需要は大幅に増えると推計されており、さらなる充実が必要となる。</p>	<p>・地域包括ケア病棟56床及び回復期リハビリテーション病棟32床の開院後の平均利用率は、95%以上と高い状況が続いており、地域のニーズが高いことを示している。</p>	<p>〈病床利用率〉</p> <p>一般病棟 80% 以上</p> <p>回復期リハ病棟 90% 以上</p> <p>地域包括ケア病棟 90% 以上</p>
<p>(医療・介護人材)</p> <p>・他の区域と比較して、医師や看護師の数は充実しているが、東彼杵郡は、特に小児科、産婦人科の診療所が少なく、病院においては循環器科、整形外科の医師が不足している。</p>	<p>・新病院計画において、地域包括ケア病棟は4床増の60床、回復期リハビリテーション病棟は6床増の38床を予定している。</p>	

① 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

イ) 地域包括ケアシステムの構築に向け果たすべき役割

新公立病院ガイドライン	市民病院新改革プラン
<p>医療介護総合確保推進法においては、地域包括ケアシステムの構築を目的の一つとして掲げており、地域医療構想の中でも将来の在宅医療の必要量を示すこととしているなど、医療と介護が総合的に確保されることを求めている。</p>	<p>・大村市では、医療、看護、介護と行政が連携を図り、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を官民協働で進めるため、医師会、歯科医師会、薬剤師会などが包括的連携協定を締結し、多職種が連携して地域包括ケアシステムの構築を進めることとしている。</p>
<p>特に、中小規模の公立病院にあっては、介護保険事業との整合性を確保しつつ、例えば、在宅医療に関する当該公立病院の役割を示す、住民の健康づくりの強化に当たった具体的な機能を示すなど、地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割を明らかにすべきである。すべきである。</p>	<p>・市立大村市民病院では、平成26年9月に開設した「地域包括ケア病棟」において、入院治療後や病状が安定した患者に対するリハビリなど効率的かつ密度の高い医療を提供するとともに、市内の医療機関や行政と連携した退院支援に向けた取組みを進めている。</p>

① 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

ウ) 一般会計負担の考え方

新公立病院ガイドライン	市民病院新改革プラン
<p>公立病院は、地方公営企業として運営される以上、独立採算を原則とすべきものである。一方、地方公営企業法上、一定の経費については、一般会計等において負担するものとされている。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 病院事業会計では、大村市が所有する病院建物や医療機器の企業債元利償還金の支払いを行う。 <p>病院事業会計に料金収入はないので、収支均衡を保つため、企業債や国県補助金等の財源を除いた現金必要額と同額の一般会計繰入金を受け入れ、収支均衡を保っている。</p>
<p>したがって、新改革プランの前提として、当該公立病院が地域医療の確保のため果たすべき役割を明らかにした上で、これに対応して一般会計が負担すべき経費の範囲についての考え方及び一般会計等負担金の算定基準(繰出基準)を記載する。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 指定管理者制度を導入し、利用料金制を採用しているため、病院の管理運営に係る収入支出は基本的に指定管理者が行うことになっている。

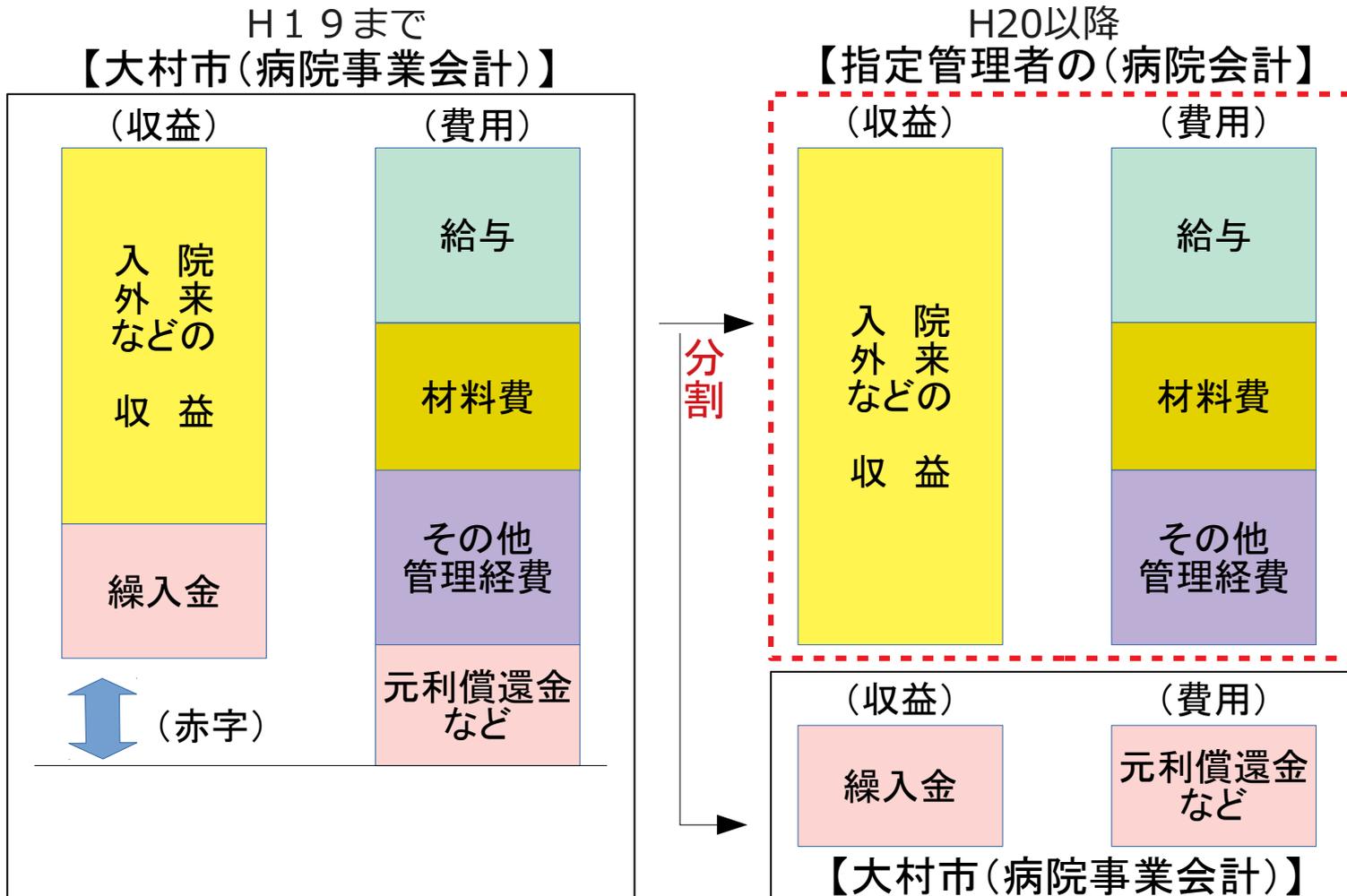
① 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

工) 医療機能等指標に係る数値目標の設定

新公立病院ガイドライン	地域医療構想 ＜県央地域＞	市民病院新改革プラン																																				
<p>当該公立病院が、その果たすべき役割に沿った医療機能を十分に発揮しているかを検証する観点から、以下の例示を踏まえ適切な医療機能等指標について、数値目標を設定する。</p> <p>1) 医療機能・医療品質に係るもの 救急患者数、手術件数、紹介率・逆紹介率</p> <p>2) その他 患者満足度、健康・医療相談件数など</p>	<p>長崎県地域医療構想では、医療需要から機能ごとの必要病床数を推計し、2015年の病床機能報告の結果と2025年の必要病床数の推計結果を比較すると、全ての構想区域において、急性期病床が多く、回復期病床が不足している。</p>	<p>市立大村市民病院の病床数を医療需要にあった規模に見直す。</p>																																				
<p>Q&A 公立病院は、都道府県が策定する地域医療構想を踏まえて、地域の医療提供体制において果たすべき役割を明確にすることが必要であり、その際には、当該公立病院の将来の病床機能のあり方などの具体的な将来像が示されなければならない。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2015年</th> <th>2025年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>384</td> <td>358.3</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>1,813</td> <td>1,062.5</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>502</td> <td>992.5</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>1,791</td> <td>1,144.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,490</td> <td>3,557.5</td> </tr> </tbody> </table>		2015年	2025年	高度急性期	384	358.3	急性期	1,813	1,062.5	回復期	502	992.5	慢性期	1,791	1,144.2	計	4,490	3,557.5	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2015年</th> <th>2025年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td>9</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>106</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>88</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>慢性期 休棟等</td> <td>0 77</td> <td>0 0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>280</td> <td>212</td> </tr> </tbody> </table>		2015年	2025年	高度急性期	9	8	急性期	106	106	回復期	88	98	慢性期 休棟等	0 77	0 0	計	280	212
	2015年	2025年																																				
高度急性期	384	358.3																																				
急性期	1,813	1,062.5																																				
回復期	502	992.5																																				
慢性期	1,791	1,144.2																																				
計	4,490	3,557.5																																				
	2015年	2025年																																				
高度急性期	9	8																																				
急性期	106	106																																				
回復期	88	98																																				
慢性期 休棟等	0 77	0 0																																				
計	280	212																																				

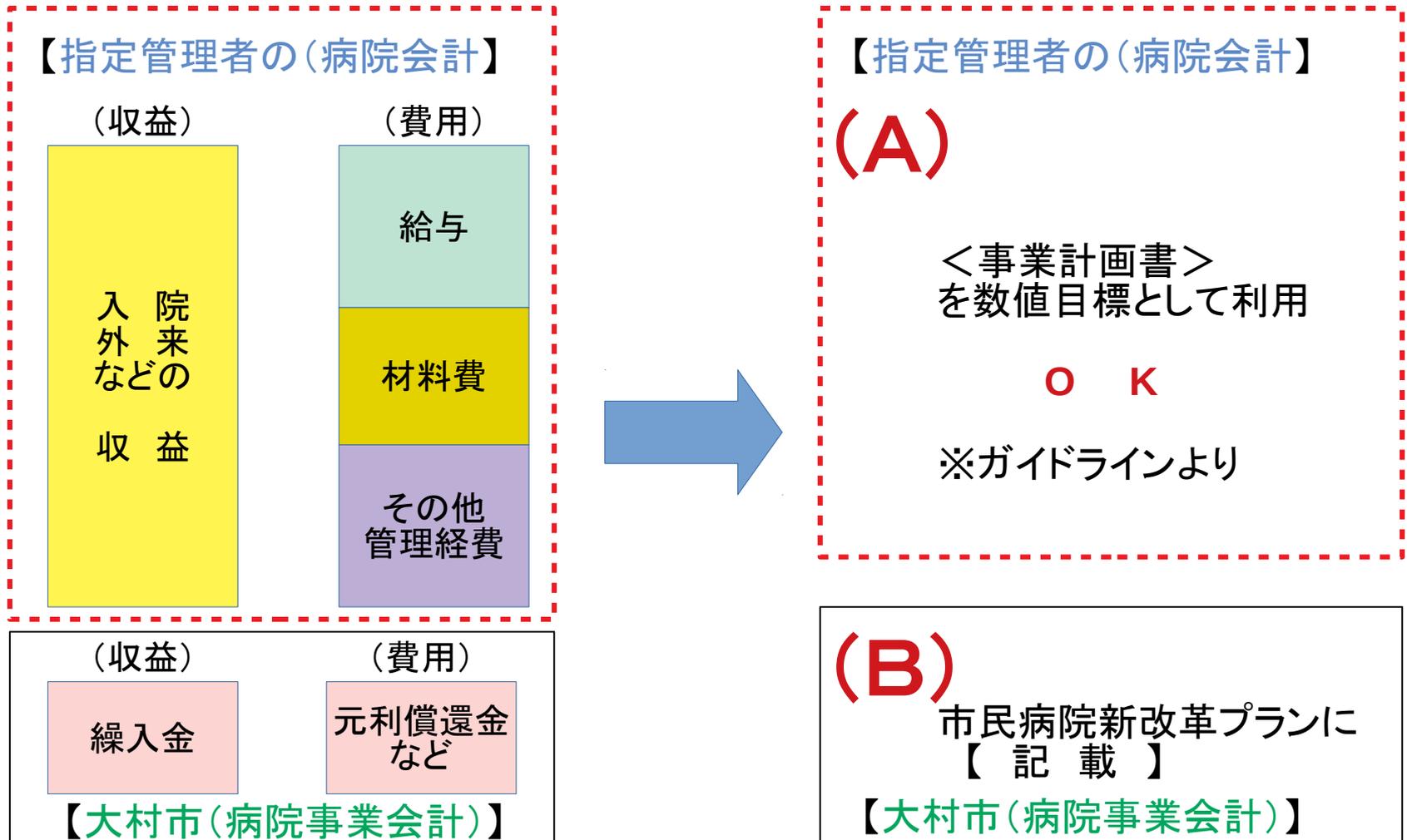
② 経営の効率化

【前提】 **2つの**会計をチェック（指定管理者の病院会計 + 市病院事業会計）が必要



② 経営の効率化

【前提】 2つの会計をチェック（指定管理者の病院会計 + 市病院事業会計）が必要



② 経営の効率化

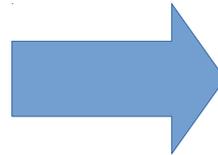
【前提】 2つの会計をチェック（指定管理者の病院会計 + 市病院事業会計）が必要

【指定管理者の（病院会計）】

前年度事業分
決算統計の報告
毎年9月頃

決算統計の報告
毎年7月頃

【大村市（病院事業会計）】



【指定管理者の（病院会計）】

経営比較分析表

「 例年
2月下旬から

3月上旬公表 」

【大村市（病院事業会計）】

・新改革プラン対象期間中の各年度の収支計画等

(B) 市民病院新改革プランに【記載】
【大村市(病院事業会計)】

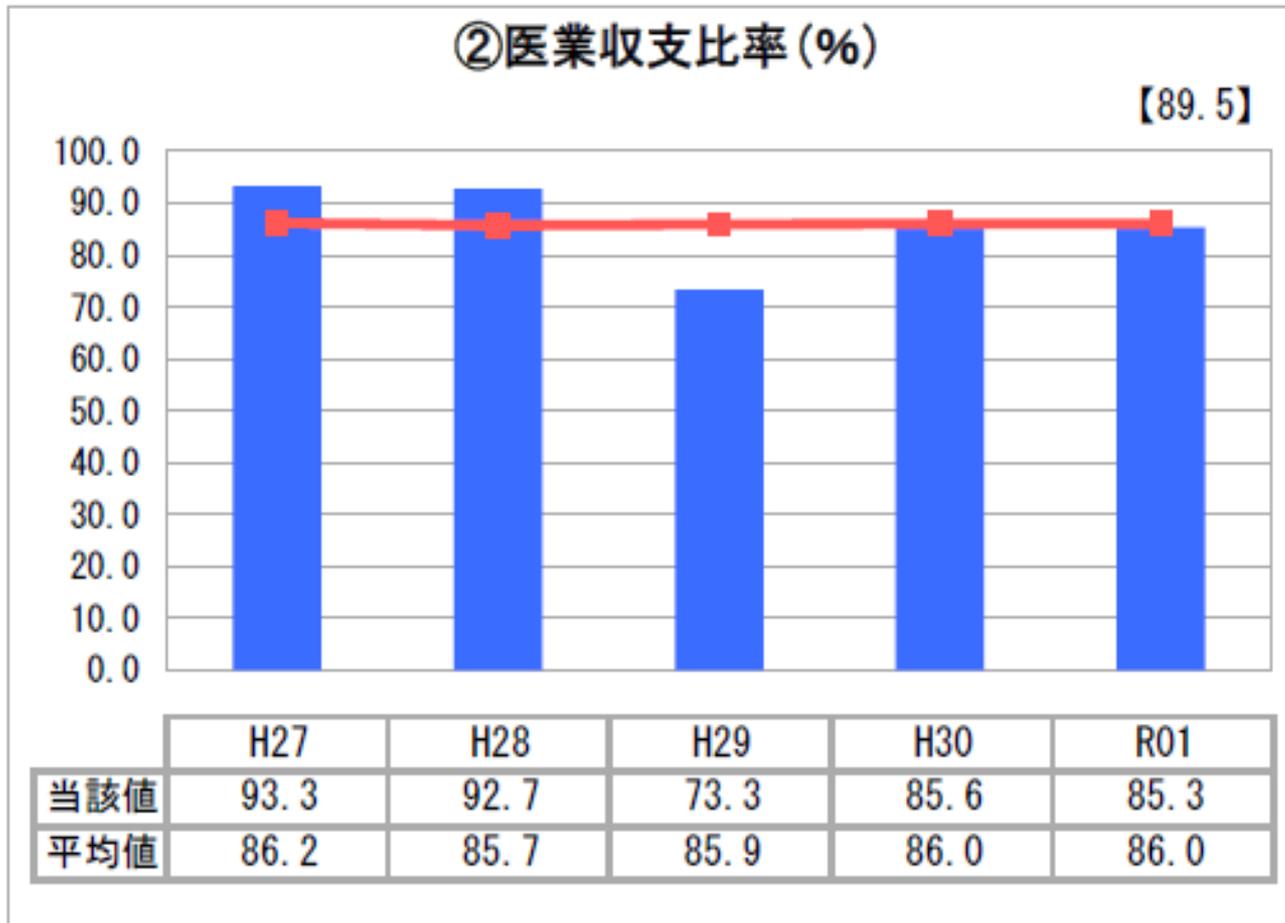
病院事業会計の収支見通し(収益的収支+資本的収支 現金ベース) 単位：百万円
数値の黒字 = プラン上の数値 数値の赤字 = 実績値

【収入】	H 29		H 30		R 1	
一般会計繰入金	658	544	638	534	636	531
企業債	891	756	0	0	0	35
計	1,549	1,300	638	534	636	566

【費用】	H 29		H 30		R 1	
人件費	2	2	2	3	2	1
維持管理経費等	30	16	30	4	30	3
建設改良費	910	756	0	0	0	35
元利償還金(建物分)	201	185	205	186	204	186
元利償還金(医療機器)	406	341	401	341	400	341
計	1,549	1,300	638	534	636	566

②医業収支比率(%) $\text{医業収益} \div \text{医業費用} \times 100$

<コメント: 病院の収益力の真の姿を見る重要な指標です。H29開院当初は減少しましたが、類似病院と同等の値で推移しています。>



グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

【指標の意味】

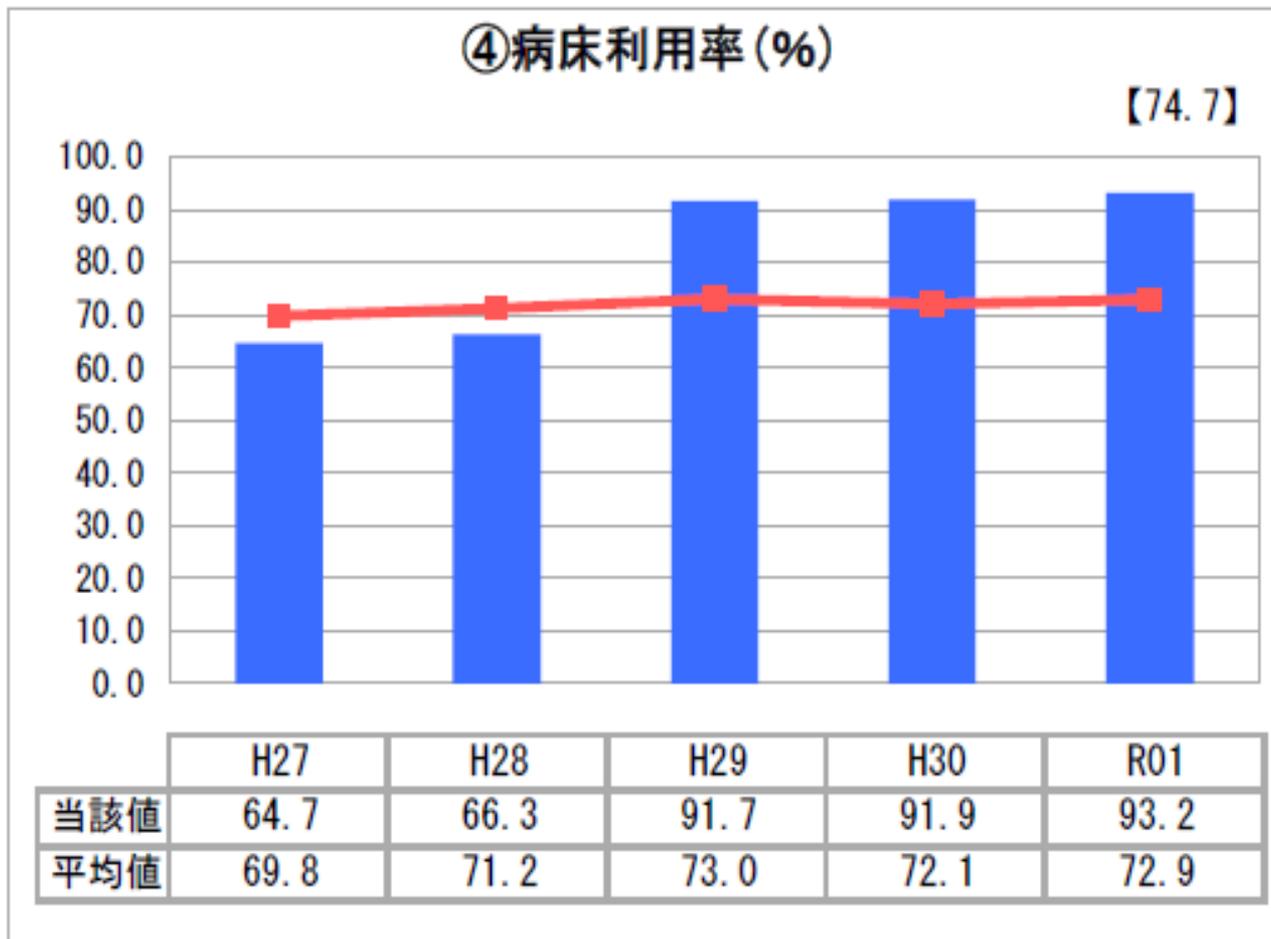
病院の本業である医業活動から生じる医業費用に対する医業収益の割合を示す指標

【分析の考え方】

医業活動における経営状況を判断するもの。

④病床利用率(%) (入院延患者数÷稼働可能延病床数)×100

<コメント:新病院開院後H29からは90%超で推移しています。>



グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

【指標の意味】

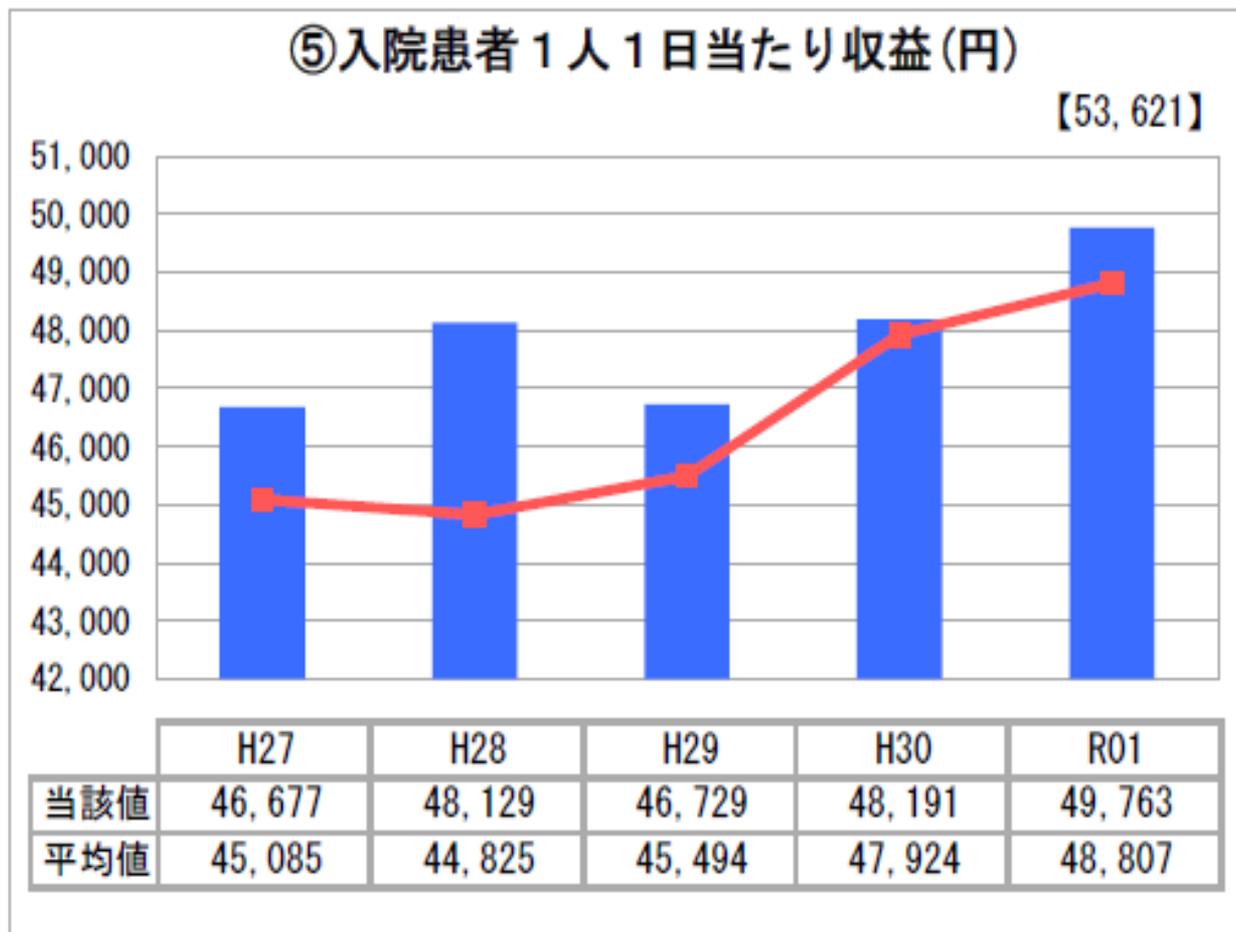
病院の施設が有効に活用されているか判断する指標

【分析の考え方】

公立ガイドラインでは病床利用率が3年連続70%未満である場合再編や経営形態の見直しの検討要請がある。

⑤入院患者1人1日当たり収益(円) $(\text{入院収益}) \div (\text{年延入院患者数}) \times 1,000$

<コメント:新病院開院H29は減少したものの、増加が継続しています。>



グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 令和元年度全国平均

【指標の意味】

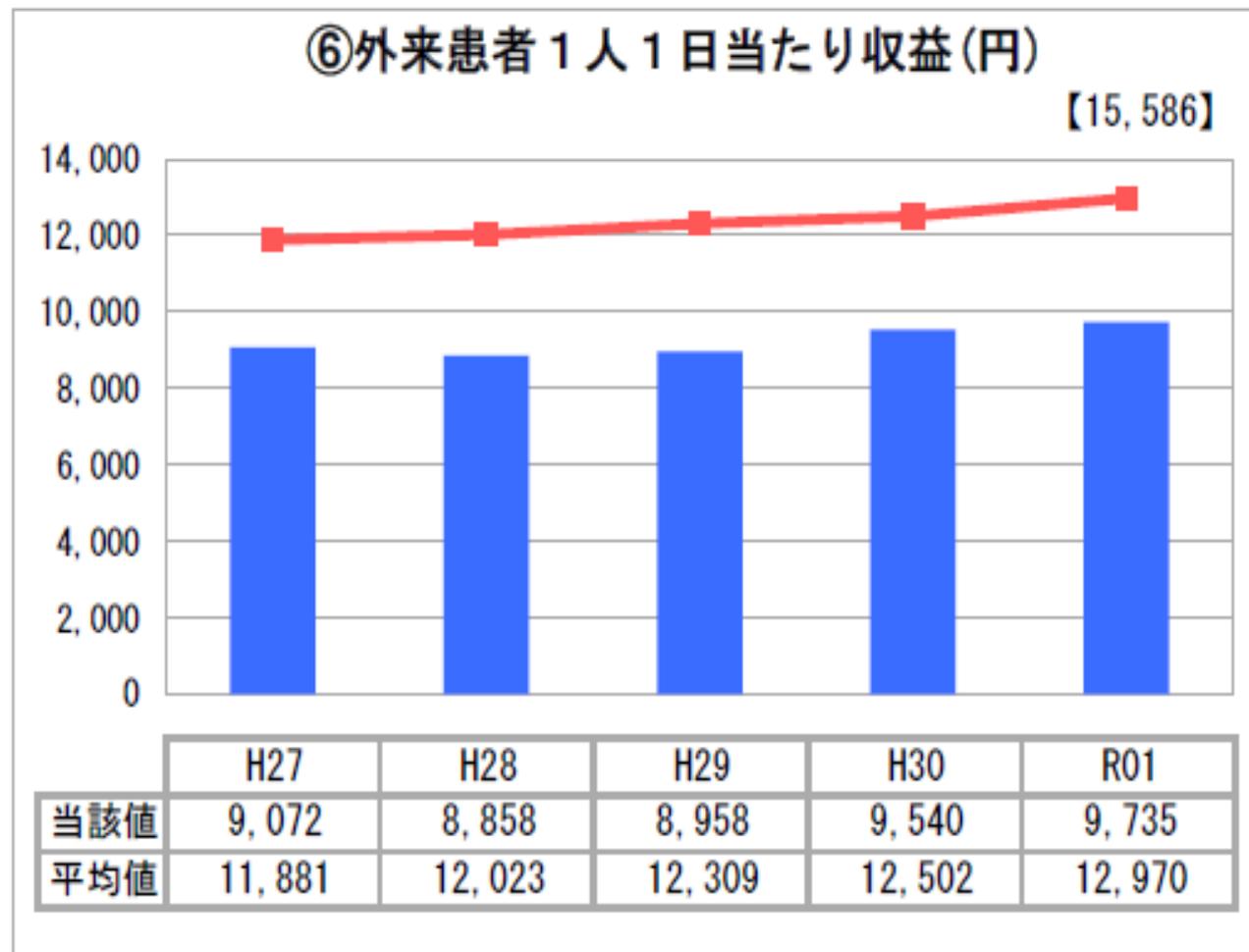
入院患者1人1日当たりの平均単価を示す指標

【分析の考え方】

経年比較で減少傾向にある場合や、類似病院の平均より下回っている場合は、改善へ向け検討が必要。

⑥外来患者1人1日当たり収益(円) (外来収益)÷(年延外来患者数)×1,000

<コメント: 徐々にですが、増加が継続しています。>



グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

【指標の意味】

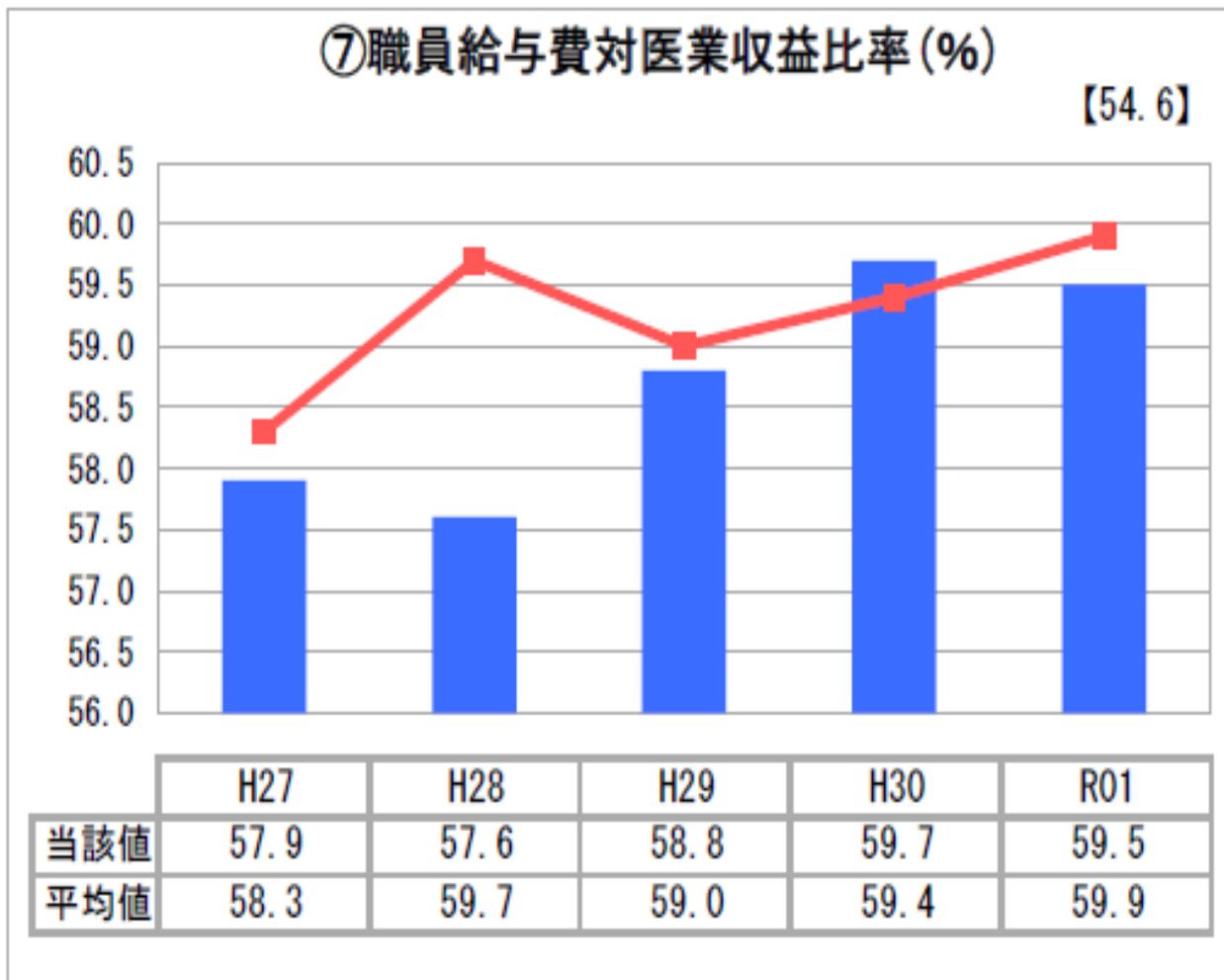
外来患者1人1日当たりの平均単価を示す指標

【分析の考え方】

経年比較で減少傾向にある場合や、類似病院の平均より下回っている場合は、改善へ向け検討が必要。

⑦職員給与費対医業収益比率(%) (職員給与費)÷(医業収益)×100

<コメント:概ね類似病院平均値と同等で推移しています。>



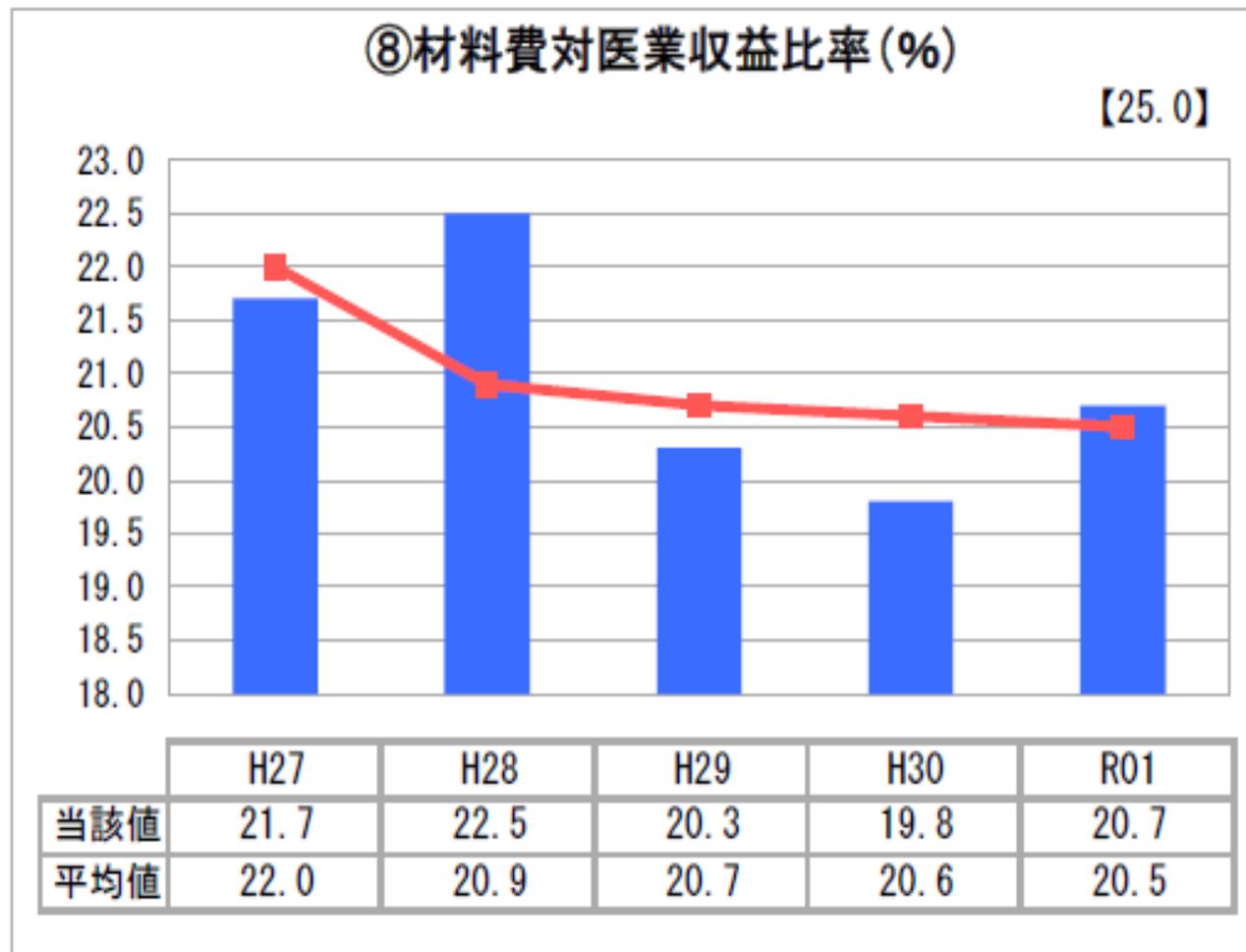
グラフ凡例
 ■ 当該病院値(当該値)
 — 類似病院平均値(平均値)
 【】 令和元年度全国平均

【指標の意味】
 医業収益の中で職員給与費が占める割合を示す指標

【分析の考え方】
 病院は人的サービスが主体となる事業であり、職員給与費が最も高い割合を占めることとなる。このため、職員給与費をいかに適切なものとするかが重要なポイントとなる。

⑧材料費対医業収益比率(%) (材料費)÷(医業収益)×100

<コメント:概ね類似病院平均値と同等で推移しています。>



グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

【指標の意味】

医業収益の中で材料費が占める割合を示す指標

【分析の考え方】

薬剤費等を含む材料費は、費用のうち職員給与費に次いで高い割合を占める要因の1つである。類似病院平均より上回っている場合は、改善へ向け検討することが求められる。

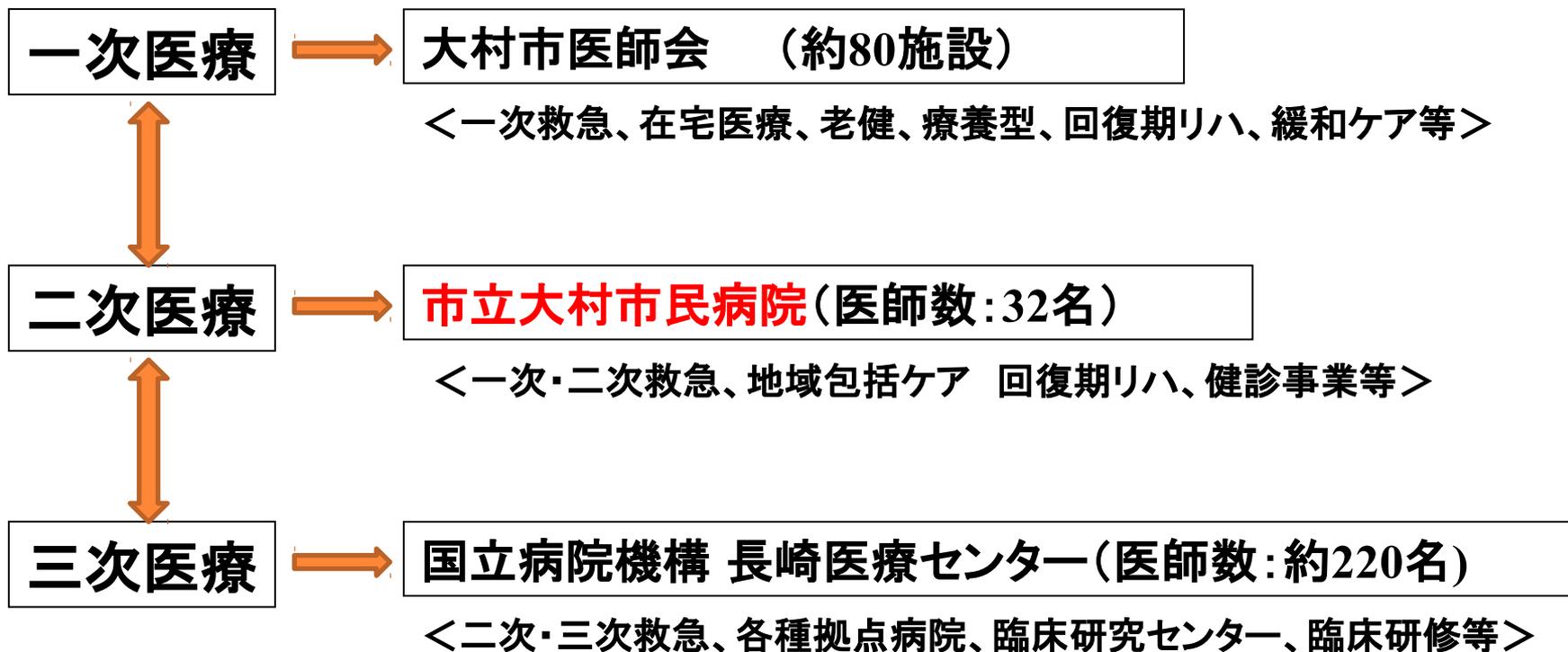
本日のスケジュール

市民病院の経営状況報告

(2) 令和元年度実績報告と令和2年度の近況報告

大村市の医療環境

<人口 : 97,423人、高齢化率 : 25.1% (令和元年11月現在) >
(長崎県;32.3% 国;28.5%)



名称	市立大村市民病院
所在地	856-8561 長崎県大村市古賀島町133番地22
開設者	大村市
開設年	昭和26年10月1日 平成20年4月1日から指定管理 平成29年4月新築移転
管理運営	公益社団法人 地域医療振興協会
診療科目(標榜) 22診療科	内科、呼吸器内科、腎臓内科、消化器内科、神経内科、感染症内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、心臓血管外科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、皮膚科、泌尿器科、救急科、精神科、歯科口腔外科、麻酔科
病床数	許可病床 216床(一般212床+感染症4床)
その他	管理型臨床研修指定病院 人工透析、健康管理センター

私たちは、地域の皆様の「健やかな生活」を支援する「あたたかい医療」を行います。

○運営方針

1. 患者さん本位の地域医療を行います。
2. 患者さんにまごころを込めた十分な説明を行い、信頼される医療を実践します。
3. 自己研鑽に努め、チーム医療を推進し、安心・安全な医療を提供します。
4. 地域の皆様が安心して生活できるよう、地元医療機関・行政との連携を密にし

保健医療福祉のネットワークの構築を推進します。

5. 患者さんの権利を尊重し、個人情報を守ります。
6. へき地支援病院として、離島や山間部の医療過疎地への診療支援を推進します。
7. 臨床研修病院として、地域医療を志す医師を育成します。

○医療機能の特色

急性期医療から回復期、維持期、予防医学にわたる 一貫した医療の提供を行っています。

基本理念

- ・地域の皆様へ 笑顔と あたたかい心で 信頼される看護を行います。

管理体制

- ・看護単位7個(3F, 4F, 5F, 6F, HCU, 手術室, 外来)
- ・病棟及び外来には 師長 副師長 主任を配置
- ・固定チームナーシングの看護体制

教育方針

- ・「ともに育つ教育環境」を整えることが安心・安全の療養環境に繋がると捉え、新人看護師の育成継続教育に力を注ぐ
- ・他施設の新人看護師の研修も受け入れ
- ・看護学校の臨地実習施設
- ・市内の中学・高校の職場体験の受入

平成20年4月より、地域医療振興協会が管理運営を開始

<令和3年4月1日予定>

職員数 432名 (うち非常勤 99名)

【常勤医師】30名 ・ 【非常勤 11名】
* 協会内他施設から 派遣医師 1名

【看護部】242名(うち非常勤 49名)

【医療技術部職員】90名
(うちリハ療法士 48名)

【事務職】59名(非常勤33名)

	令和元年度	令和2年度 (4月～1月)
病床数	216床	216床
外来患者数	323.7人/日	286.4人/日
入院患者数	198.4人/日	171.9人/日
病床稼働率	91.9%	79.6%
平均在院日数(一般)	12.2日	13.6日
紹介率	63.1%	66.4%
救急車受入件	805件	679件

臨床研修指定病院

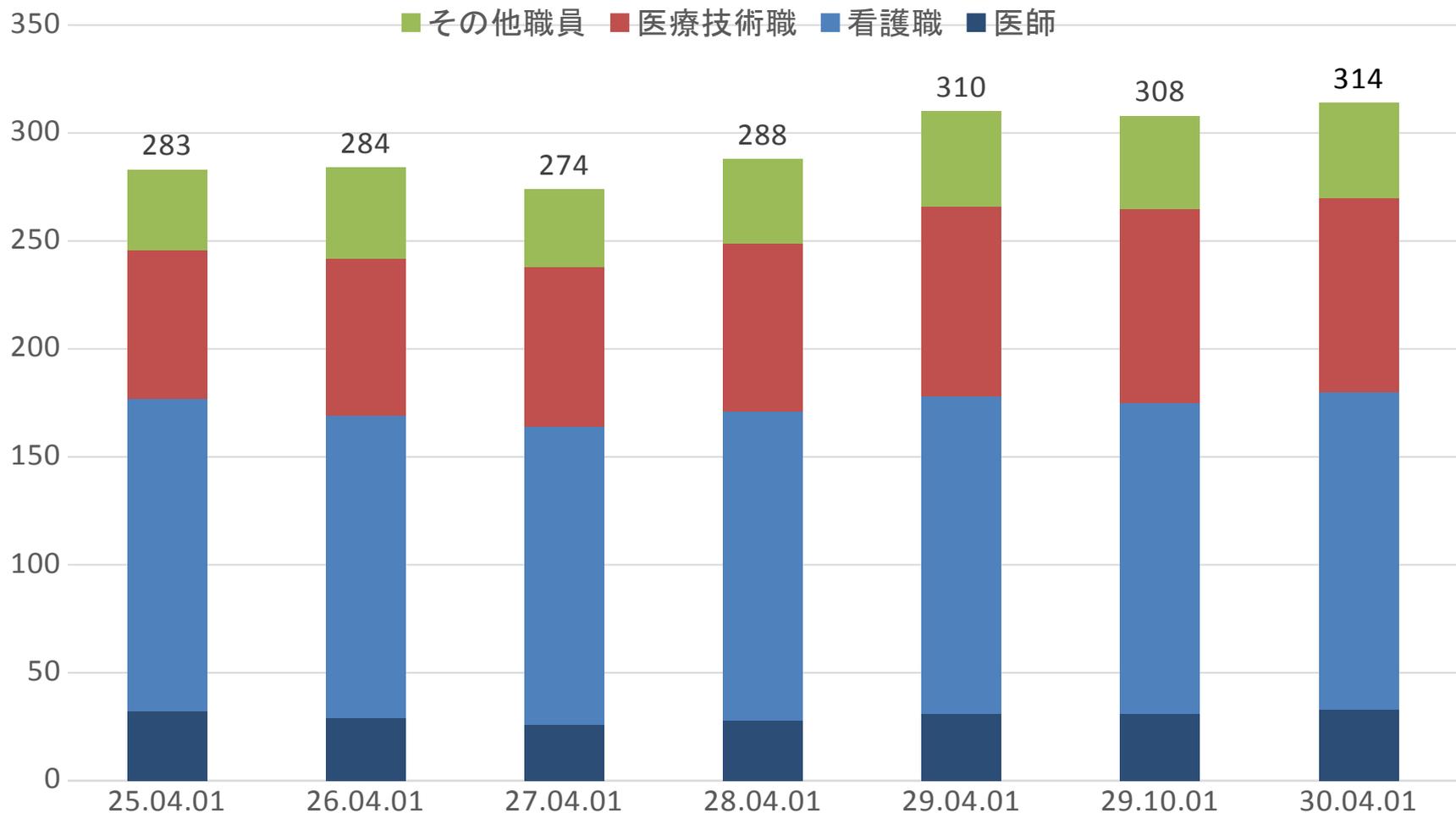
看護配置基準：一般 10対1 (DPC採用)、HCU(8床)
回復期リハ病棟、地域包括ケア病棟

令和元年度稼働率

(回復期リハ 97.5%、 包括ケア 98.0%)

職員数の推移

① 常勤職員数



2008.4.1移行時

職員245名, 非常勤48名

計293名

2021.4.1予定

職員333名, 非常勤99名

計432名

入院診療体制

<地域医療構想を念頭に置いた計画>

新病院 病棟構成の変更 平成29年4月～

	旧病院
ハイケア I	5
ハイケア II	4
急性期(10:1) 内科・外科他	60
急性期(10:1) 心外・循環器	46
回復期リハ	32
地域包括ケア	56
感染症	4
合計	207



	新病院
ハイケア I	(高度急性期) 8
急性期(10:1) 内科・整外科他	(急性期) 54
急性期(10:1) 心外・循環器	(急性期) 52
回復期リハ	(回復期) 40
地域包括ケア	(回復期) 58
感染症	4
合計	216

・政策医療への取り組み

- ・5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）
- ・5事業（救急医療、災害医療、へき地医療の支援、周産期医療、小児医療）にかかると医療供給体制

政策医療等への取り組み - ②

- ・救急医療(2次救急)、心臓血管病センターでの総合的高度先進医療(24時間体制)
- ・地域包括ケアシステムの入院体制を支える地域包括ケア病棟・回復期リハビリ病棟の運営
- ・高度歯科口腔外科、人工透析を実施
- ・健康管理センターにおける各種健康診断、保健指導
- ・災害医療への対応、Ⅱ類感染症、災害時医療対応BCP等

★令和元年10月から運用開始

- ・患者家族、大村市から要望
小児リハビリ施設の不足。市内で実施してほしい。
- ・県立子供医療福祉センターと連携
作業療法士2名が研修、勉強会を実施。
- ・30名の小児言語リハビリ実施
作業療法介入の診断名対象は27名

リハビリ職員3名増

小児作業療法 (R1年10月から 約3,300千円)

災害医療等-① II 類感染症対策

新病院では感染症病床4床を完備

H29年12月21日

H30年12月18日

R元年11月22日

新型インフルエンザ患者搬送訓練を実施
(県央保健所 県央消防 市民病院合同)

大村消防署、諫早消防署、その他(佐世保市消防局)

H31年2月20日 検疫感染症措置訓練を実施

福岡検疫所長崎検疫支所 県央保健所 市民病院合同



災害医療等-② BCPの策定・取組状況

・平成26年1月策定(旧病院)平成29年5月改定(新病院)

職員の配置、参集要員(病院一職員宅間までの距離)等は年1回見直し、更に現状に合わせ随時更新している。

令元年8月17～18日に長崎県DMAT隊員養成研修会へ参加した。

*** BCPに基づいた災害訓練の部分訓練を11月28日に実施した。**

・大村市地域医療5者災害医療WG 平成30年11月6日発足

機 関; 県央保健所、大村市、大村市医師会、長崎医療センター、市立大村市民病院
目 的: 大規模災害発生時の情報共有等について、平時からの関連機関で有事への備えを行う。

* 今年度、5月23日、7月31日、11月20日に開催し、ホットラインの構築等連絡体制について協議した。⇒・災害時緊急連絡用としてIP無線機の導入。

・今後の協議事項

大規模災害の際に

- 1) 自施設がどれくらい機能するのか、機能しない場合はどこに支援を求めるのか。(傷病者の受入等)
- 2) 連絡体制をどうするのか。
 - ・担当者数名の携帯電話番号を把握, 全機関IP無線機の導入、複数のホットラインの構築等
 - ・安否確認情報システム導入予定(R3年度)
- 3) それぞれの施設が何を市へ要望するのか(水道・電気・燃料・食料の確保)

2019. 7月 長崎空港事故訓練



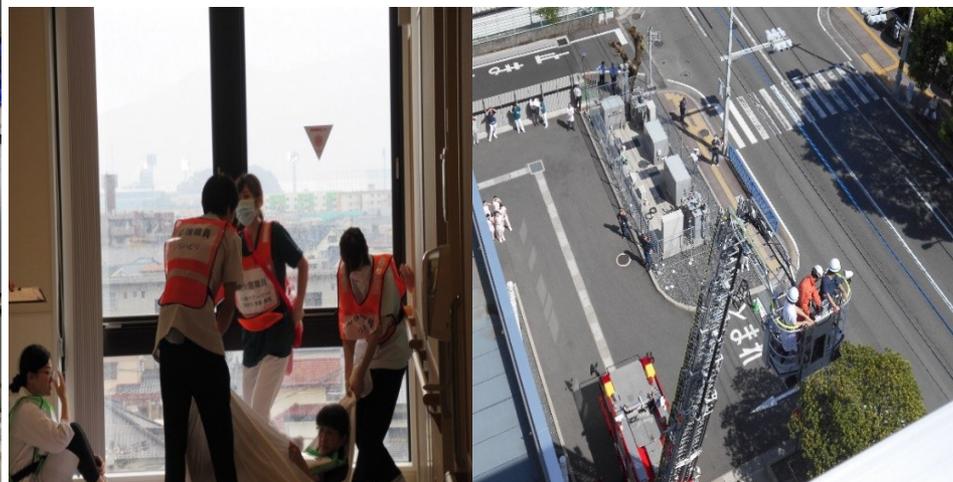
2019. 7月 長崎医療センター災害訓練



2019.11月 BCP訓練(対策本部)



2019. 9月 消防訓練



地域医療連携-①

地域医療連携室を中心に病診連携・病病連携を推進

- ・長崎医療センター、大村市医師会、福祉施設等の相互連携体制の構築 連携室協議会への参加 勉強会の開催等

平成31年4月～

「地域連携・患者支援センター」として、地域連携室（前方連携）と入退院支援室を配置した。

入退院支援室は、ソーシャルワーカーが関わる患者相談室と入退院支援を行う看護師を入退院支援係として配置し、入退院支援の連携強化を図る。

- ・高度医療機器の共同利用
- ・大村消防署との連絡協議会開催
- ・あじさいネットによる地域医療機関との連携
- ・健康教育の推進 ふれあい健康講座 出前講座等
- ・市内の各種行事等における職員の派遣

ふれあい健康講座 185回開催



出前講座 37回開催



地域医療連携-②

地域の看護・介護職者研修会の開催

正しい呼吸の観察・オムツの当て方・フットケア・皮膚トラブル・感染防止他について認定看護師による研修会の実施

- ・平成30年10月21日当院にて開催
31施設76名の参加（看護師・介護福祉士・ケアマネ等）
*** R元年度9月28日、10月26日に実施（参加人数 45名）**
- ・国が推進する在宅医療での医療職・介護・福祉職の連携強化、地域全体のスキルアップを図る。
- ・継続看護・介護の一端を担い、顔の見える関係を構築、患者さんが安心して地域に帰るためのネットワークの強化を目的。

- 地域医療振興協会の実施する研修・学術活動
地域医療学術集会、海外研修等

(令和元年度)

フレイル予防セミナー(本部TV会議)

- 協会施設間での後期研修医の受け入れ

(離島を含む研修)

- 基幹型研修施設

- 医学生を受入

- 院内外での研修、研究発表等

教育委員会による毎月の研修会の開催、院内研究発表会、各種学会における発表への援助など認定看護師、特定ケア看護師等の資格取得のための援助

医療の質向上

○医療安全管理

- ・医療安全管理室の設置 専従者の配置
- ・医療安全管理委員会の開催、定期的院内巡視 リスクの把握 分析 検討 評価 改善を実施
- ・事故、インシデント、クレーム等の早期把握
- ・全職員への医療安全教育、研修や啓発、新人教育の徹底 (出席を義務化)

○院内感染対策

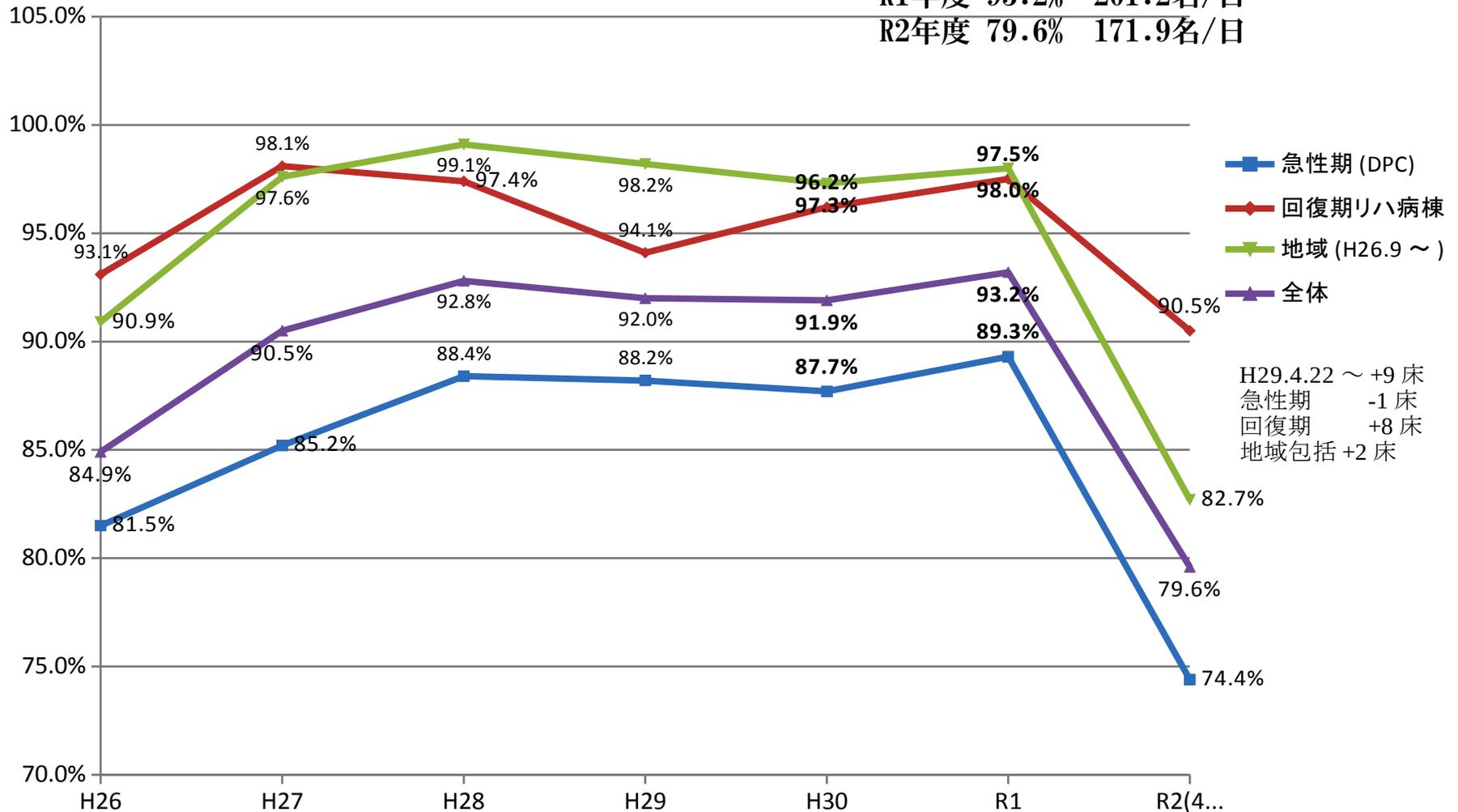
- ・感染対策室の設置 専従者(認定看護師)の配置
- ・院内感染対策委員会の開催、ICT委員会の職場ラウンドにより各職場での感染対策チェック
- ・全職員への感染対策教育、研修、連携施設との相互カンファレンスの実施

病床稼働率 推移

R1年度以降目標

全病床数(216床)の 90% 195名

26年度	84.9%	172.3名/日
27年度	90.5%	183.8名/日
28年度	92.8%	188.4名/日
29年度	92.0%	198.0名/日
30年度	91.9%	198.4名/日
R1年度	93.2%	201.2名/日
R2年度	79.6%	171.9名/日

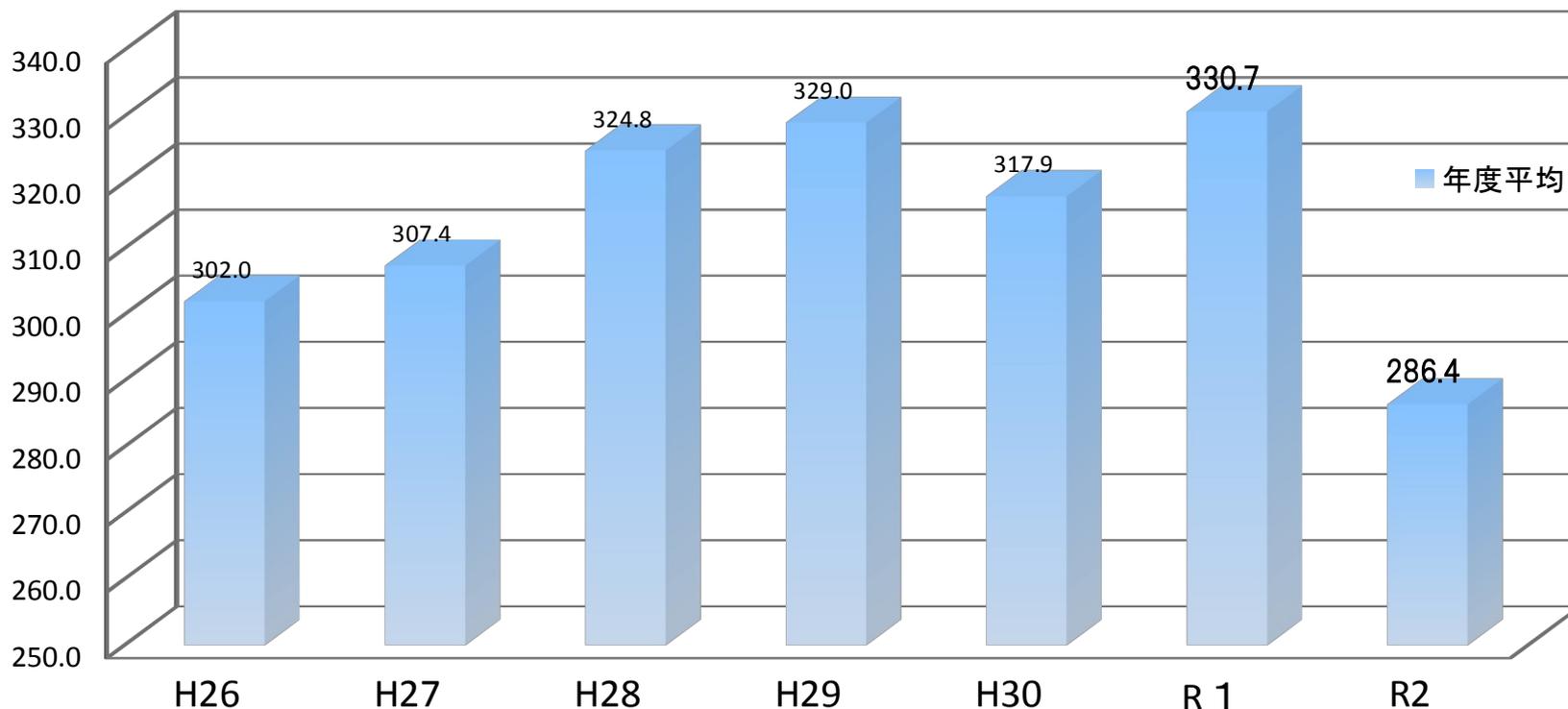


2020年度稼働率 4月~1月分累計 171.9名 79.6%

外来患者数推移

26年度	302.0名
27年度	307.4名
28年度	324.8名
29年度	329.0名
30年度	317.9名
R1年度	330.7名
R2年度	286.4名
(4-1月)	

外来患者数 年度平均



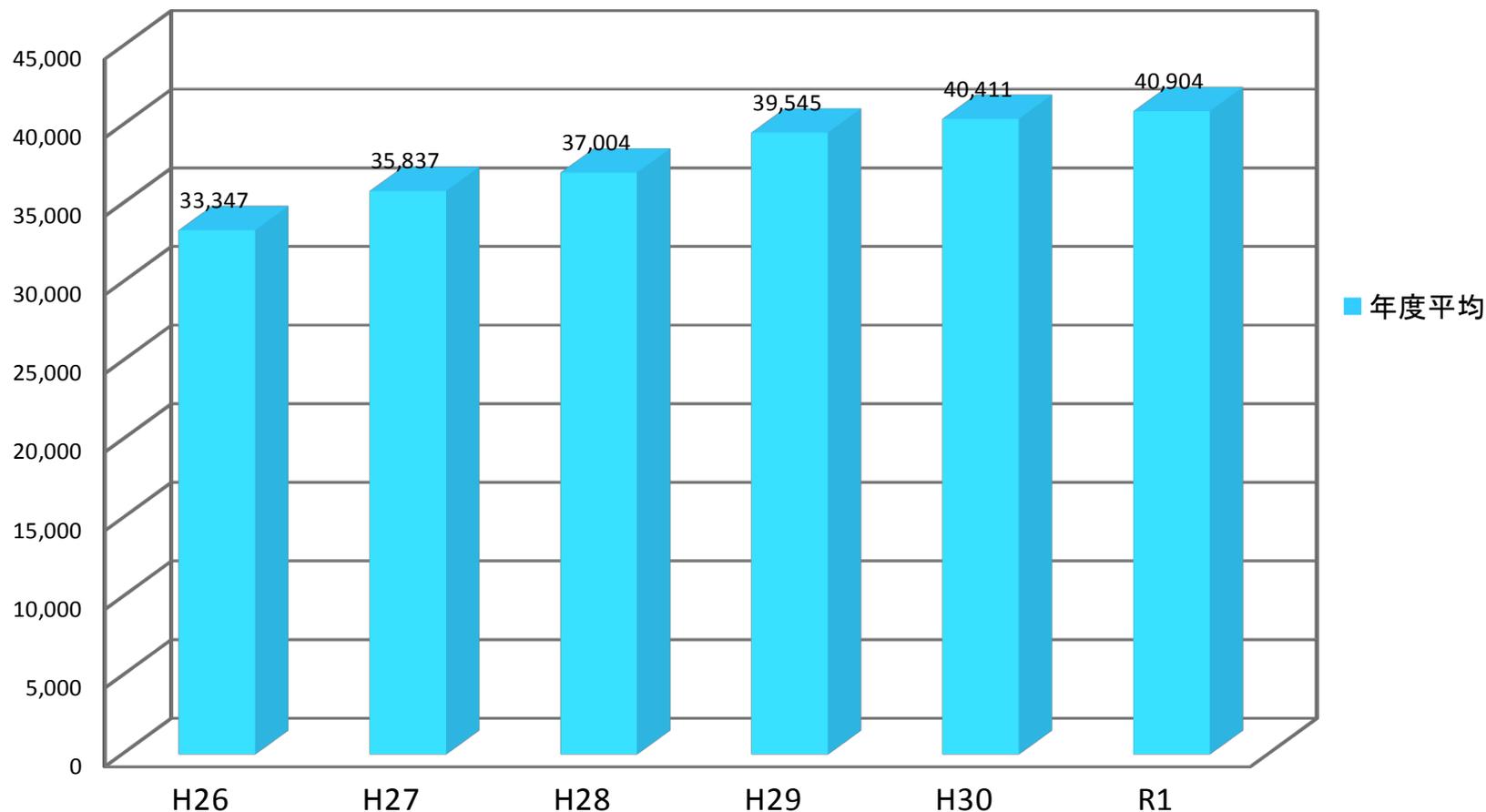
2020年度実績：4月～1月分累計

286.4名

回復期リハビリテーション病棟単価推移

回復期リハビリテーション病棟単価

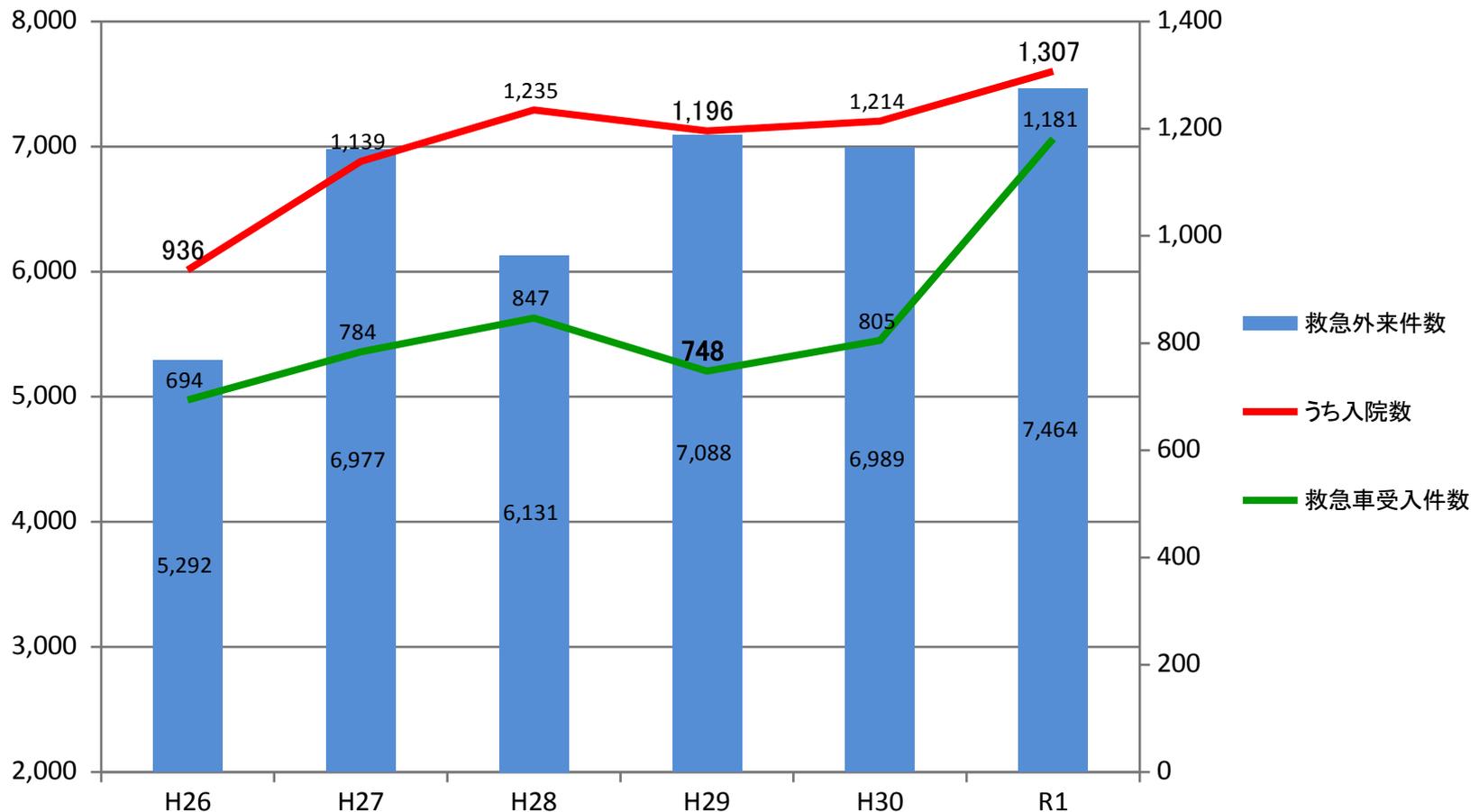
(単位;円)



* 2020年度(4月-1月) 平均単価 41,288円 +384円(対前年度比)

救急医療(救急車受入件数)

救急車受入件数

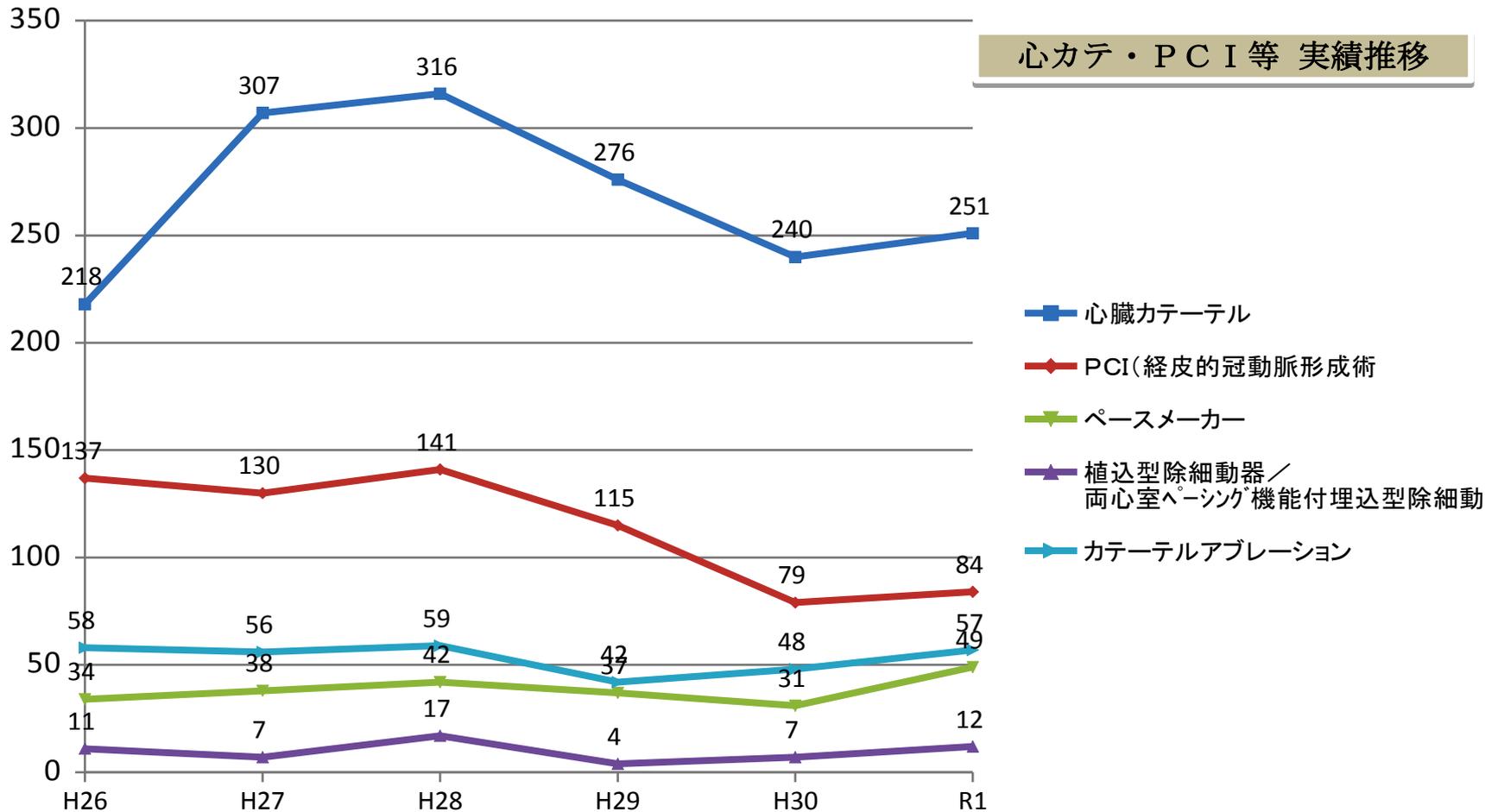


2020年度(4月～1月分累計)

・救急車受入件数 685件、
 ・救急外来件数 4,915件
 (うち入院数 915件)

循環器系・心臓血管外科治療

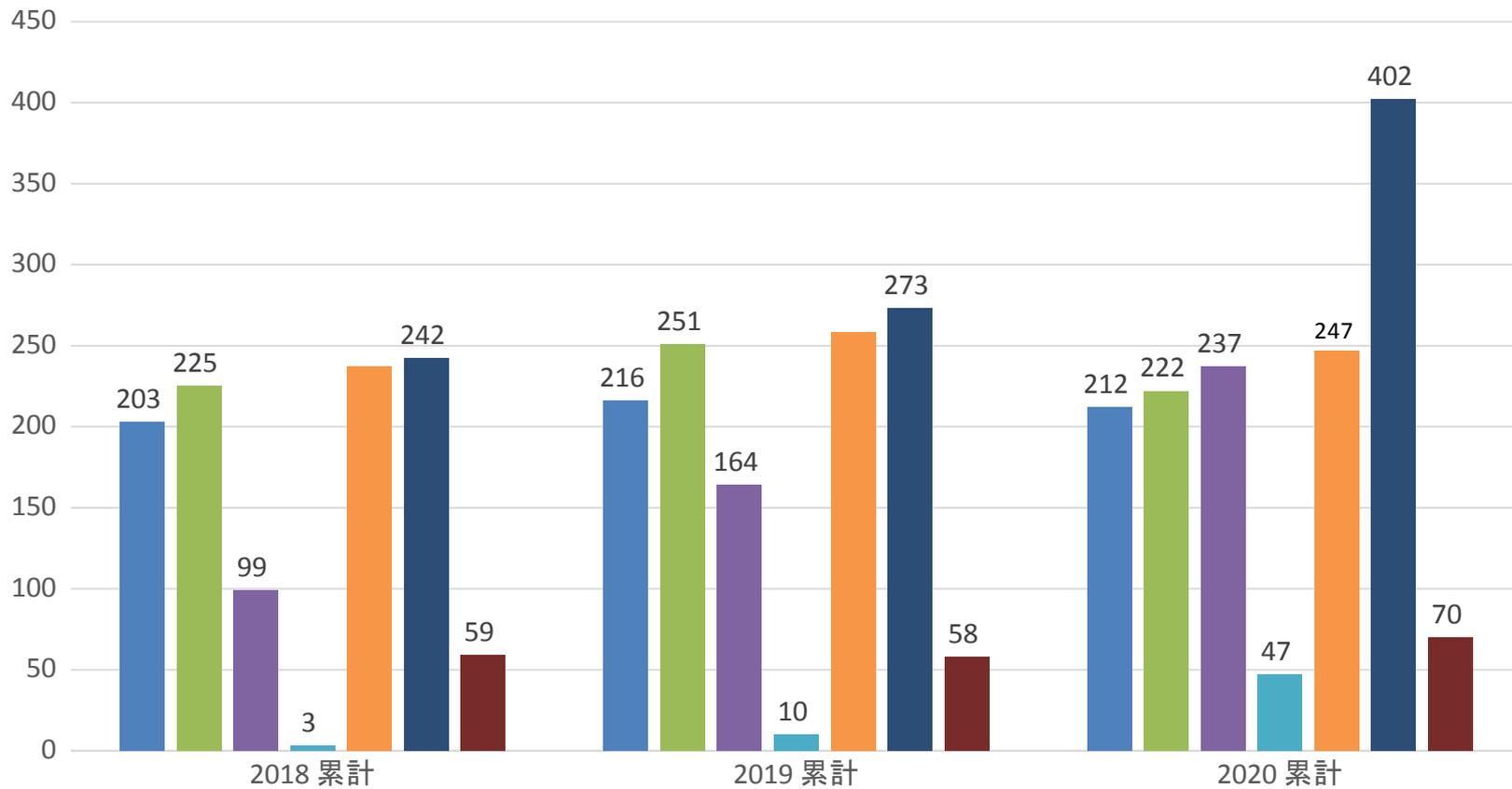
心カテ・PCI等 実績推移



心臓血管外科手術（下肢静脈瘤手術、シャント拡張術、ステントグラフト
内挿術、冠動脈、大動脈バイパス手術 他）

・2018年度⇒251件、・2019年度⇒252件 +2件増
(参考:2020年度4月～1月分累計 194件)

歯科口腔外科(周術期等口腔機能管理料件数)

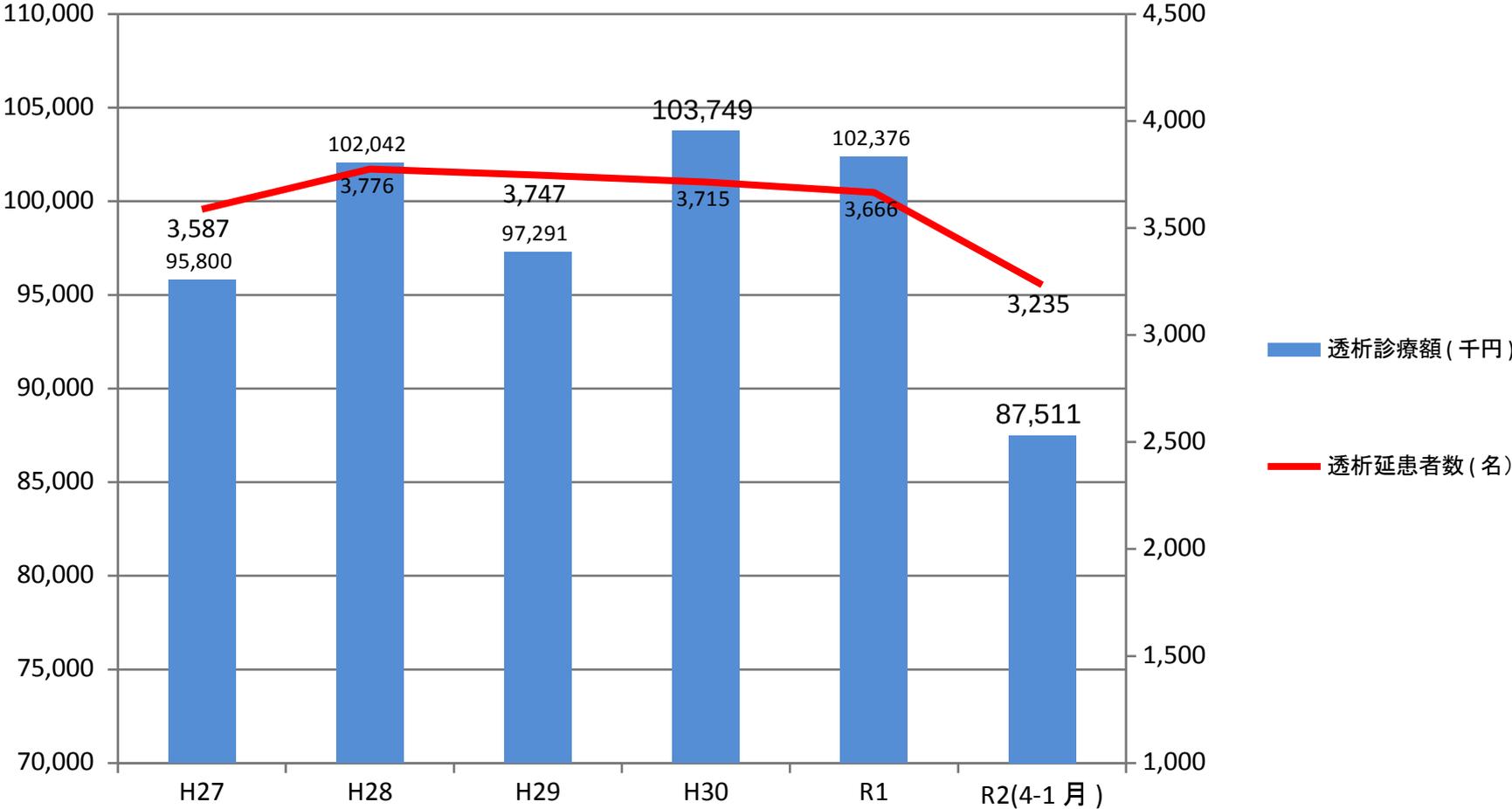


- 周術期等口腔機能管理料(1)(手術後)
- 周術期等口腔機能管理料(2)(手術前)
- 周術期等口腔機能管理料(2)(手術後)
- 周術期等口腔機能管理料(3)
- 周術期等口腔機能管理計画策定料
- 周術期等専門的口腔衛生処置(1口腔につき)
- 周術期口腔機能管理後手術加算(手術)

2020年度は(4月~1月)実績

人工透析の状況

外来透析件数

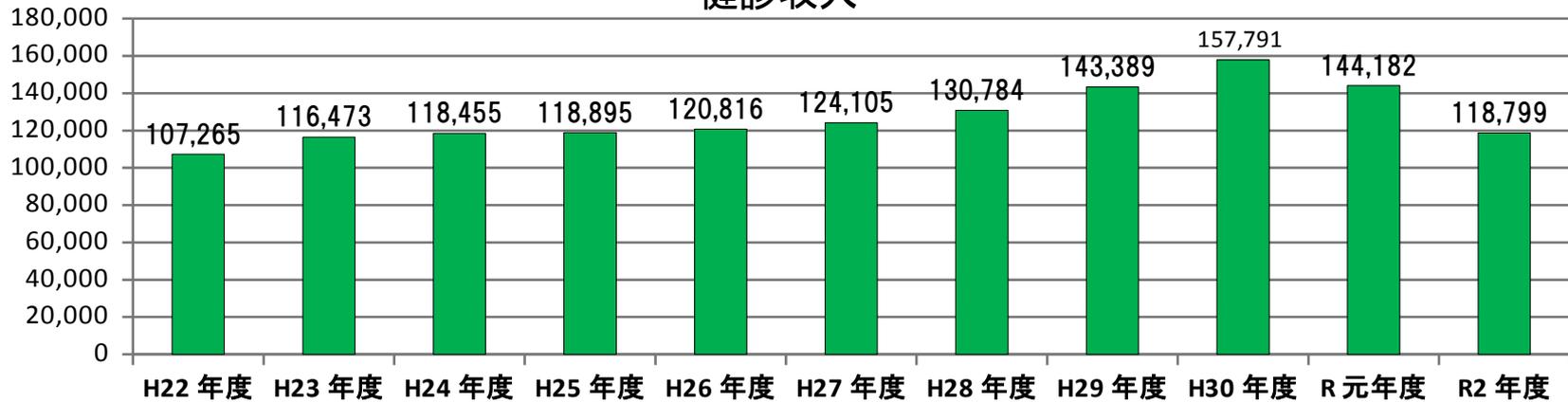


健診センター稼働実績 推移

収入の推移

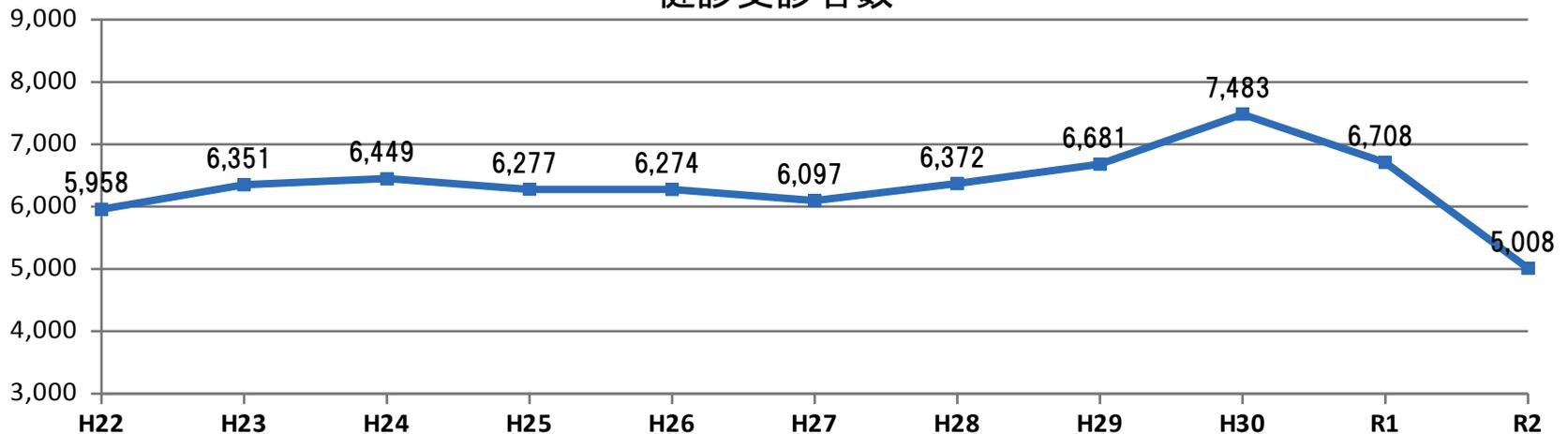
健診収入

(単位；千円)



受診者数推移

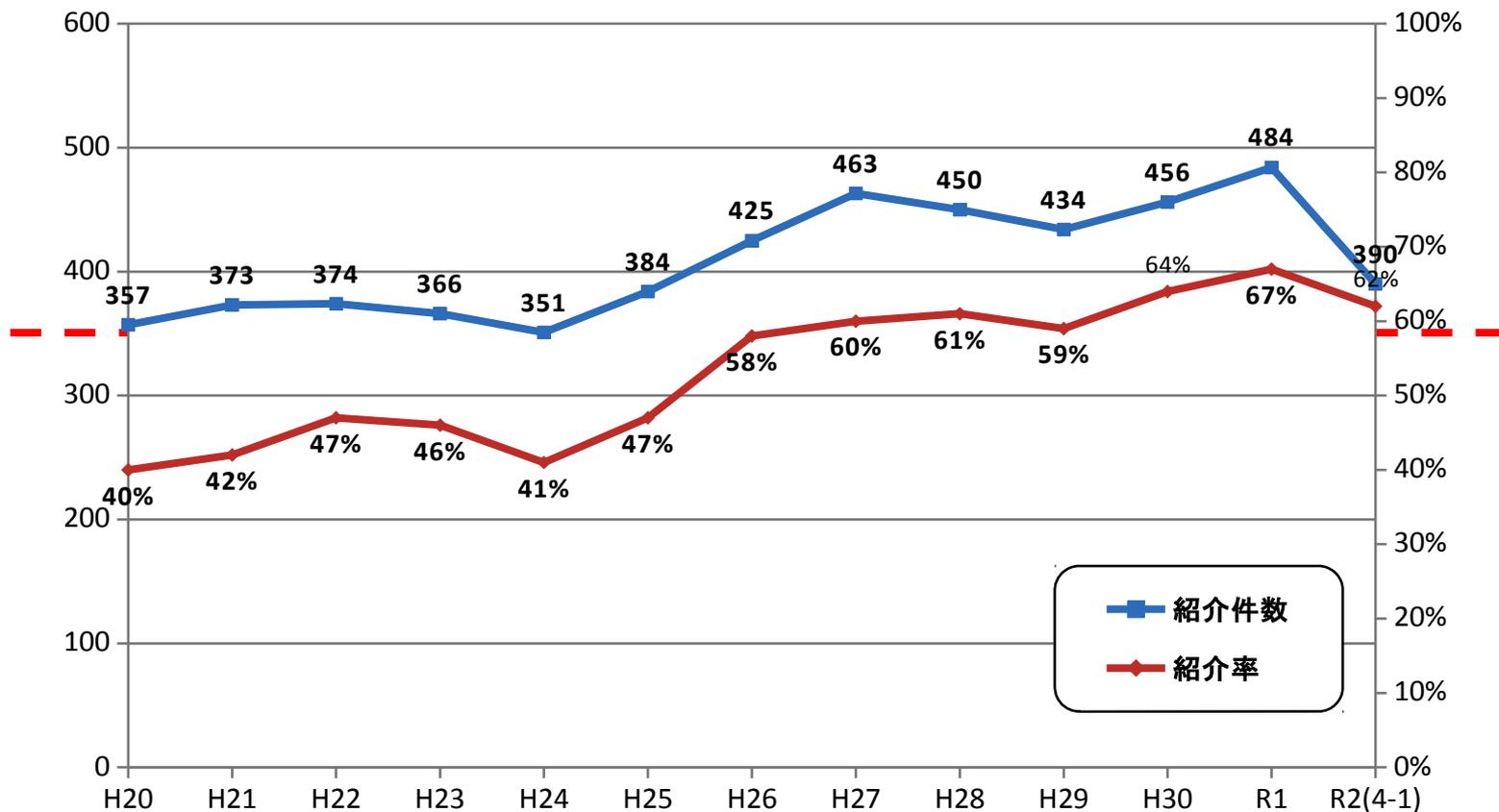
健診受診者数



R2年度は、4~1月までの実績

地域連携 紹介数・紹介率の向上

年度別 紹介件数(月平均)・紹介率



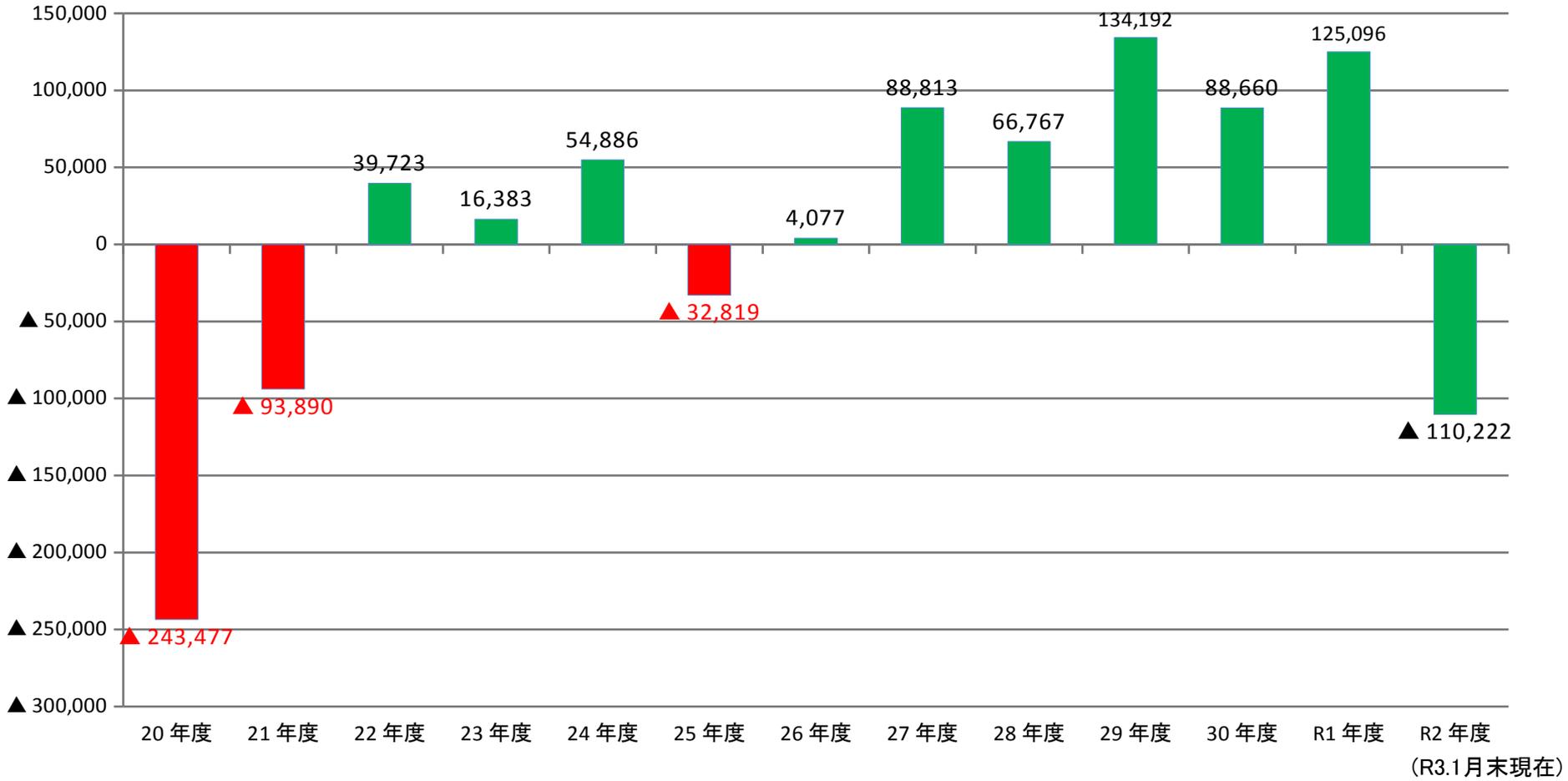
2020年度(4月～1月分)・紹介件数390件, ・紹介率62%, ・逆紹介率 40.0%

指定管理後の損益の推移 ①

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
							(千円)
事業収益	3,476,370	3,677,010	3,840,999	3,781,443	3,860,088	3,906,607	3,735,438
事業費用	3,921,390	4,032,651	4,127,129	4,072,381	4,127,726	4,253,566	4,027,346
事業利益	▲ 445,021	▲ 355,642	▲ 286,130	▲ 290,938	▲ 267,638	▲ 346,959	▲ 291,907
事業外収益	213,647	273,651	341,623	323,022	337,831	329,261	310,651
事業外費用	12,103	11,899	15,764	15,701	15,307	15,121	14,666
経常利益	▲ 243,477	▲ 93,890	39,723	16,383	54,886	▲ 32,819	4,077
							(千円)
	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度 (R3.1月末現在)	
事業収益	3,968,003	4,169,770	4,271,713	4,431,572	4,612,357	3,417,484	
事業費用	4,148,018	4,383,568	4,404,372	4,522,300	4,705,216	3,813,824	
事業利益	▲ 180,015	▲ 213,798	▲ 132,659	▲ 90,728	▲ 92,859	▲ 396,340	
事業外収益	326,989	317,118	315,180	259,481	286,957	299,673	
事業外費用	58,161	36,553	48,329	80,090	69,002	13,555	
経常利益	88,813	66,767	134,192	88,660	125,096	▲ 110,222	

指定管理後の損益の推移 ②

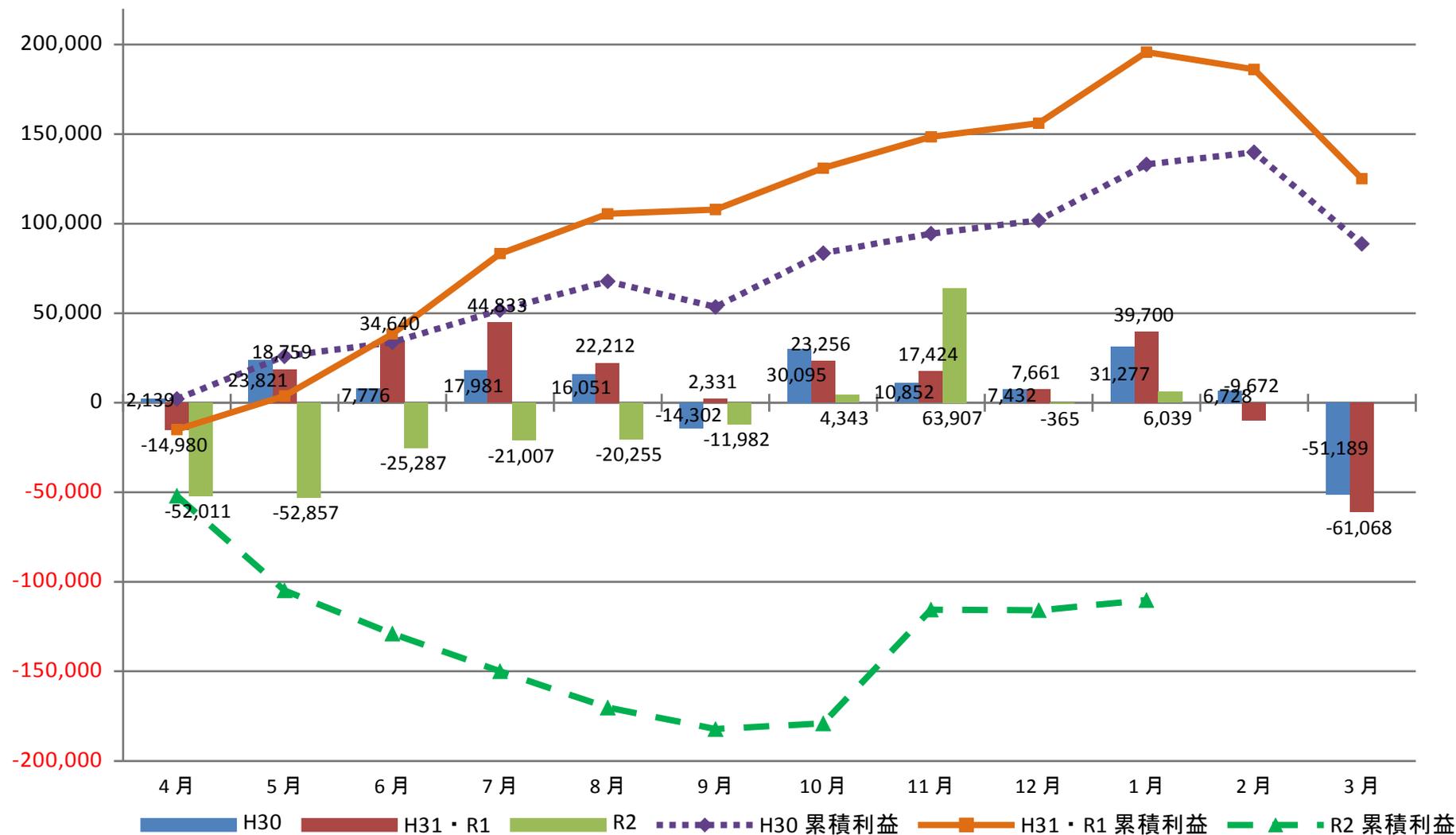
単位：千円



(大村市直営の最終年度 平成19年度決算 ▲847,000千円)

月別収支状況(過去3年間推移)

経常利益推移



2020年度 4月～1月分累計 △110,222千円

令和2年度

新型コロナウイルス感染症患者受入等について

- ・ 当院の病床数 216床（一般212床、 感染症4床）
現在、感染症病床4床については、今年度新型コロナウイルス感染症患者（擬似症を含む）23名受入れて対応してきた。
- ・ 令和2年9月末で、呼吸器内科医師の退職に伴い、感染症指定医療機関について長崎県へ指定解除の届け出を行っている。
（令和3年9月30日で解除予定）
- ・ 今後、9月30日までの間は、これまでどおり感染症患者の受入を行い、指定解除後は県の対策本部が感染状況に応じて設定する指定感染症のフェーズ拡大時に、県対策本部と協議のうえ、協力病院として対応する。

本日のスケジュール

市民病院の経営状況報告

(4) 令和元年度利用者アンケートの結果報告

ウ) 令和元年度利用者アンケートの結果報告

実施主体	指定管理者 地域医療振興協会
実施期間	平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日
対象者	入院患者
アンケート項目	① 医師 ② 看護師 ③ その他の職員 ④ 療養環境 ⑤ 総合評価 ⑥ ナースコールへの対応 ⑦ その他(意見)
回収数	3,045

令和元年度 結果

平成30年度 結果

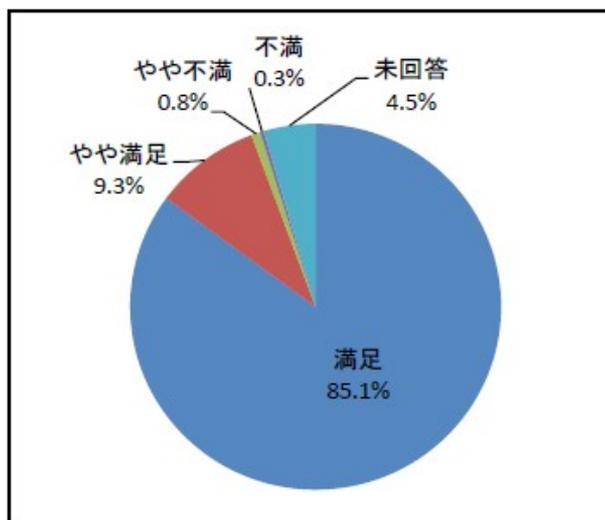
11月 ~3月分 1,895件

※アンケート内容見直しのため

①-1 医師/言葉遣いや態度

【令和元年度】

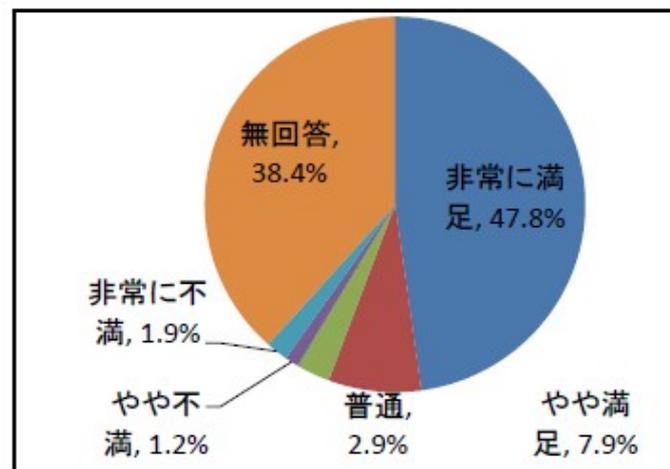
項目	人数	構成比
満足	2,592	85.1%
やや満足	282	9.3%
やや不満	24	0.8%
不満	10	0.3%
未回答	137	4.5%
合計	3,045	100%



④-4 医師に対して/言葉遣いや態度

【平成30年度】

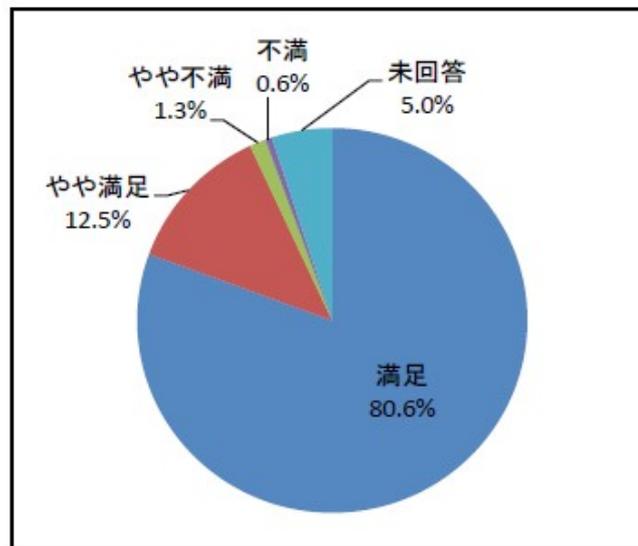
項目	人数	構成比
非常に満足	909	47.8%
やや満足	150	7.9%
普通	55	2.9%
やや不満	22	1.2%
非常に不満	36	1.9%
無回答	730	38.4%
合計	1902	100%



①-4 医師/説明の分かりやすさ

【令和元年度】

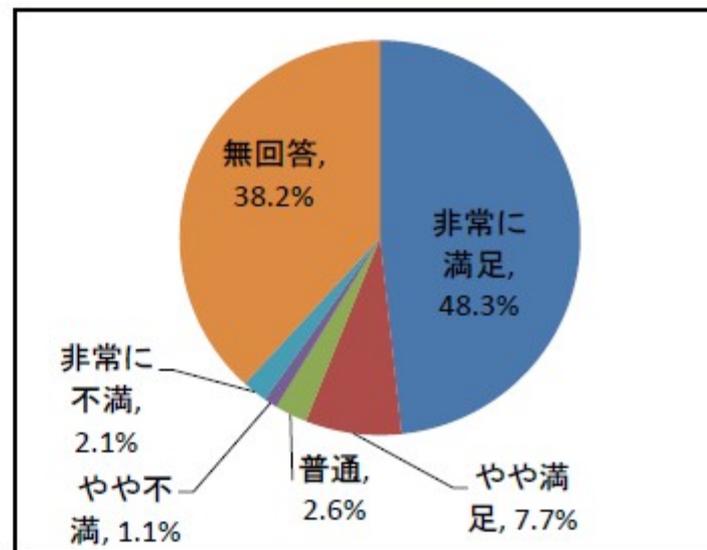
項目	人数	構成比
満足	2,453	80.6%
やや満足	380	12.5%
やや不満	41	1.3%
不満	17	0.6%
未回答	154	5.0%
合計	3,045	100%



④-2 医師に対して/病状や治療の説明

【平成30年度】

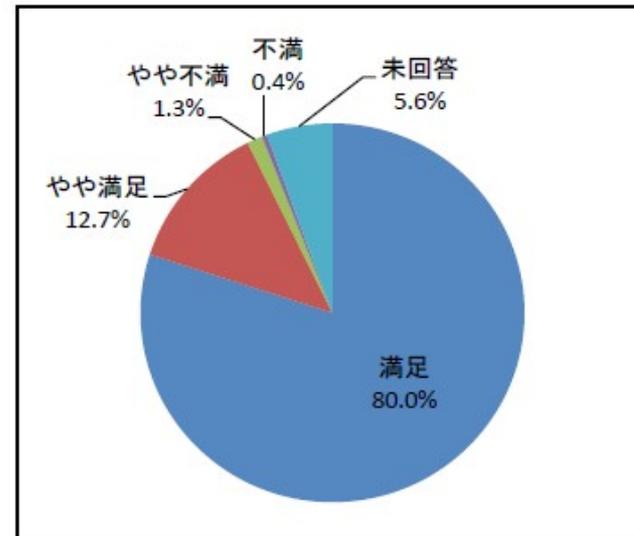
項目	人数	構成比
非常に満足	916	48.3%
やや満足	147	7.7%
普通	50	2.6%
やや不満	20	1.1%
非常に不満	39	2.1%
無回答	725	38.2%
合計	1897	100%



①-5 医者/相談・質問のしやすさ

【令和元年度】

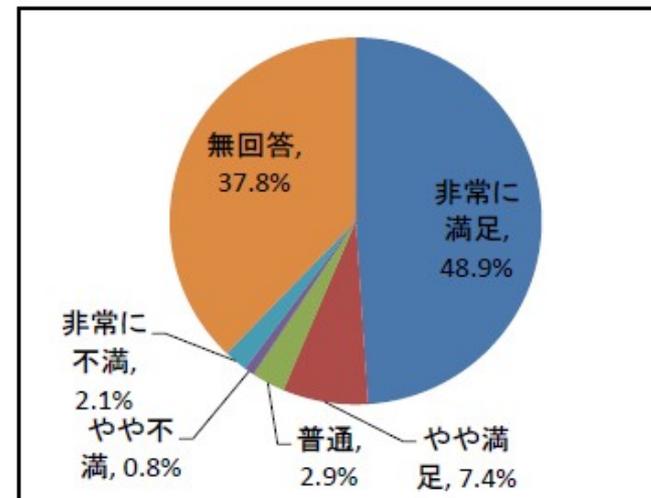
項目	人数	構成比
満足	2,437	80.0%
やや満足	388	12.7%
やや不満	38	1.3%
不満	13	0.4%
未回答	169	5.6%
合計	3,045	100%



④-1 医師に対して/話をよく聞く

【平成30年度】

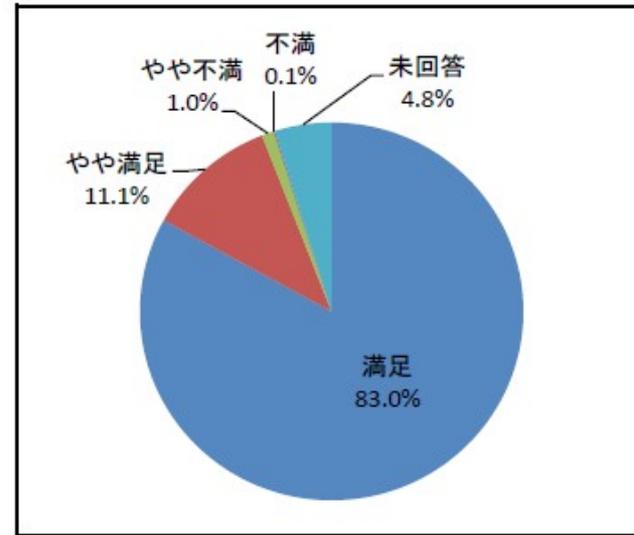
項目	人数	構成比
非常に満足	931	48.9%
やや満足	141	7.4%
普通	56	2.9%
やや不満	16	0.8%
非常に不満	39	2.1%
無回答	719	37.8%
合計	1902	100%



②-1 看護師/言葉遣いや態度

【令和元年度】

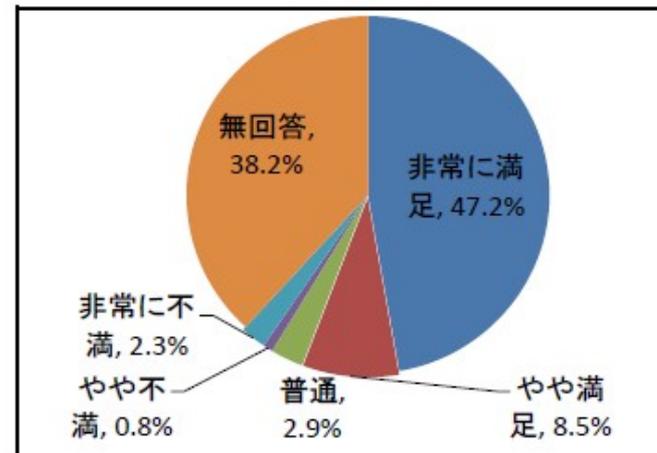
項目	人数	構成比
満足	2,528	83.0%
やや満足	337	11.1%
やや不満	31	1.0%
不満	4	0.1%
未回答	145	4.8%
合計	3,045	100%



⑤-1 看護師に対して/言葉遣いや態度

【平成30年度】

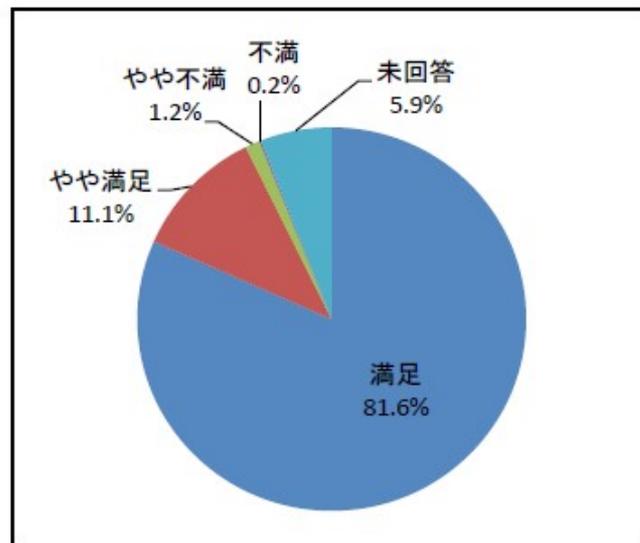
項目	人数	構成比
非常に満足	895	47.2%
やや満足	162	8.5%
普通	55	2.9%
やや不満	16	0.8%
非常に不満	43	2.3%
無回答	724	38.2%
合計	1895	100%



②-3 看護師/プライバシーへの配慮

【令和元年度】

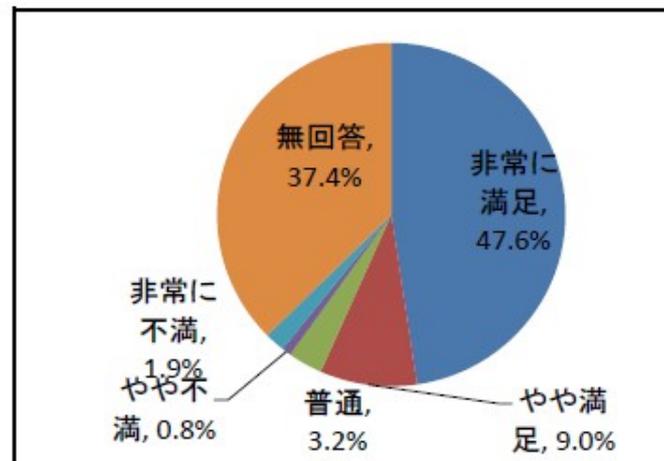
項目	人数	構成比
満足	2,484	81.6%
やや満足	337	11.1%
やや不満	39	1.2%
不満	5	0.2%
未回答	180	5.9%
合計	3,045	100%



⑤-4 看護師に対して/プライバシーへの配慮

【平成30年度】

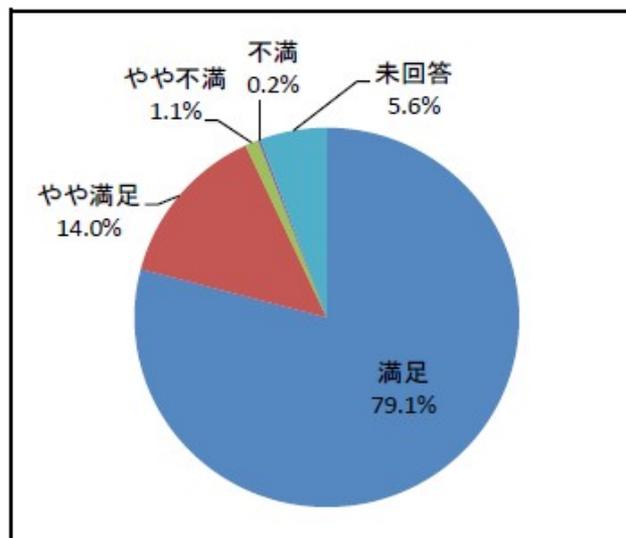
項目	人数	構成比
非常に満足	848	44.7%
やや満足	170	9.0%
普通	73	3.9%
やや不満	23	1.2%
非常に不満	53	2.8%
無回答	729	38.4%
合計	1896	100%



②-4 看護師/説明の分かりやすさ

【令和元年度】

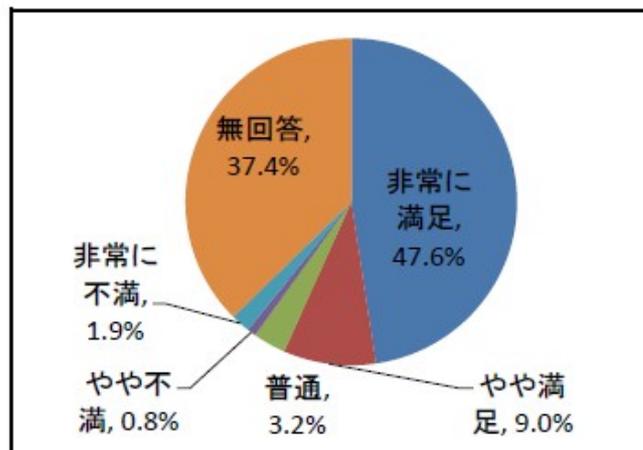
項目	人数	構成比
満足	2,409	79.1%
やや満足	425	14.0%
やや不満	34	1.1%
不満	7	0.2%
未回答	170	5.6%
合計	3,045	100%



⑤-5 看護師に対して/説明の分かりやすさ

【平成30年度】

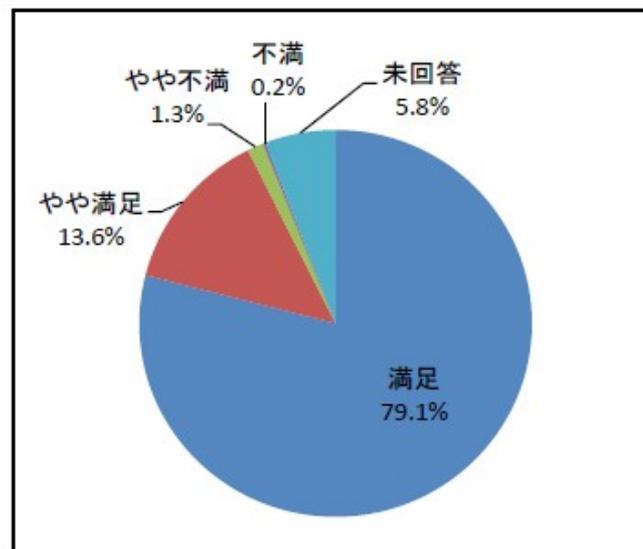
項目	人数	構成比
非常に満足	848	44.7%
やや満足	170	9.0%
普通	73	3.9%
やや不満	23	1.2%
非常に不満	53	2.8%
無回答	729	38.4%
合計	1896	100%



②-5 看護師/相談・質問のしやすさ

【令和元年度】

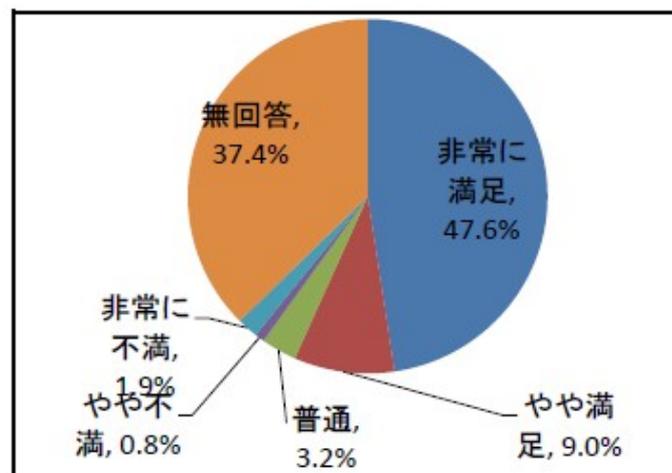
項目	人数	構成比
満足	2,407	79.1%
やや満足	415	13.6%
やや不満	41	1.3%
不満	7	0.2%
未回答	175	5.8%
合計	3,045	100%



⑥-6 看護師に対して/相談・質問のしやすさ

【平成30年度】

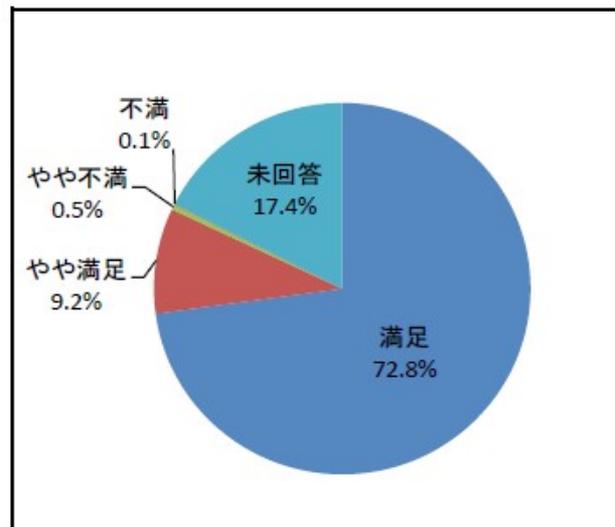
項目	人数	構成比
非常に満足	840	44.3%
やや満足	185	9.8%
普通	66	3.5%
やや不満	23	1.2%
非常に不満	50	2.6%
無回答	731	38.6%
合計	1895	100%



④-1 療養環境/院内(病室など)の清潔さ

【令和元年度】

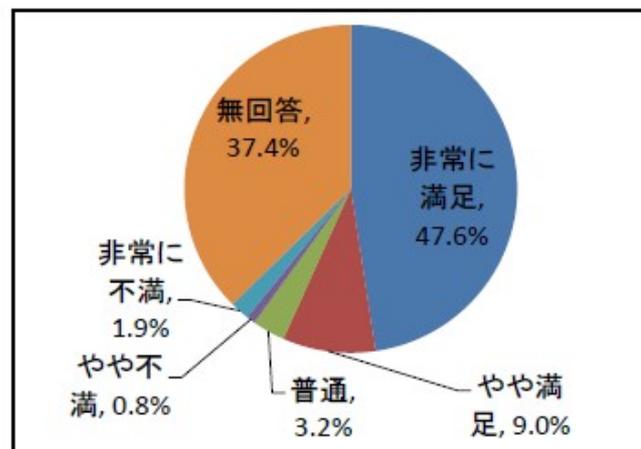
項目	人数	構成比
満足	2,217	72.8%
やや満足	279	9.2%
やや不満	17	0.5%
不満	2	0.1%
未回答	530	17.4%
合計	3,045	100%



⑧-1 療養環境/院内(病室など)の清潔さ

【平成30年度】

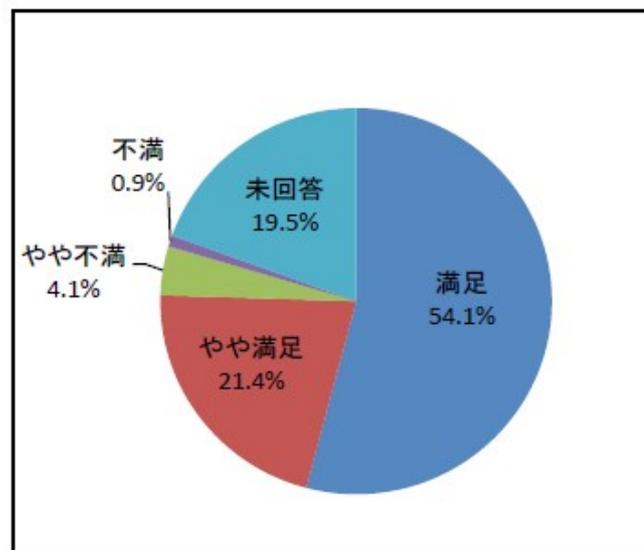
項目	人数	構成比
非常に満足	586	30.9%
やや満足	155	8.2%
普通	51	2.7%
やや不満	6	0.3%
非常に不満	275	14.5%
無回答	822	43.4%
合計	1895	100%



④-6 療養環境/食事について

【令和元年度】

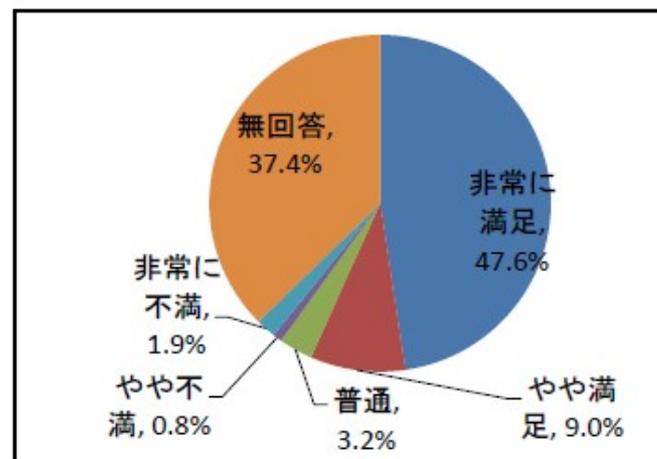
項目	人数	構成比
満足	1,648	54.1%
やや満足	651	21.4%
やや不満	125	4.1%
不満	28	0.9%
未回答	593	19.5%
合計	3,045	100%



⑧-5 療養環境/食事について

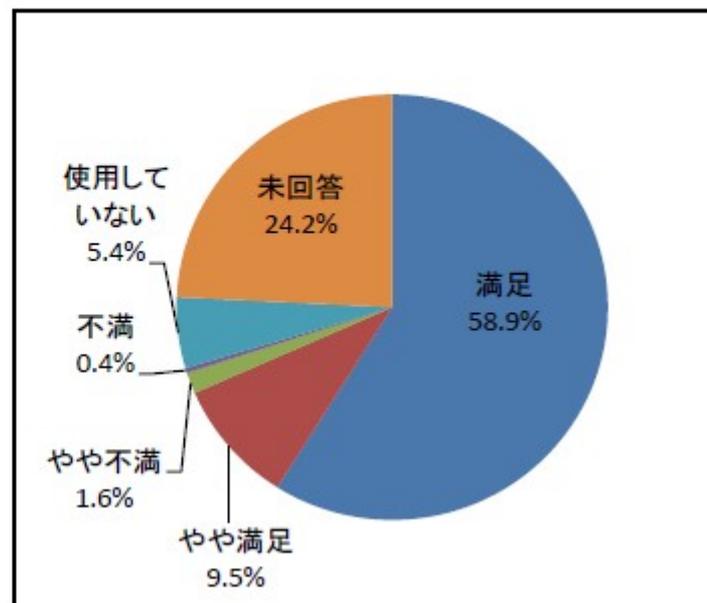
【平成30年度】

項目	人数	構成比
非常に満足	572	30.2%
やや満足	222	11.7%
普通	106	5.6%
やや不満	36	1.9%
非常に不満	136	7.2%
無回答	823	43.4%
合計	1895	100%



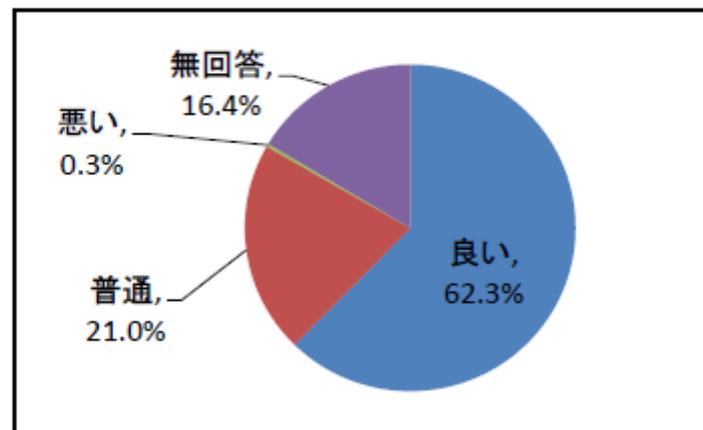
⑥-1 ナースコールへの看護師の対応について **【令和元年度】**

項目	人数	構成比
満足	1,795	58.9%
やや満足	288	9.5%
やや不満	49	1.6%
不満	11	0.4%
使用していない	164	5.4%
未回答	738	24.2%
合計	3,045	100%



③-6 看護師の対応/ナースコール対応 **【平成30年度】**

項目	人数	構成比
良い	990	62.3%
普通	333	21.0%
悪い	5	0.3%
無回答	260	16.4%
合計	1588	100%



ご静聴有り難うございました

